

みのかも文化の森 年報 平成14年度







## 目 次

はじめに	1
みのかも文化の森とは	2
常設展示	3
常設展示室・生活体験館・民具展示館	
企画展	5
特別展示	11
市民参画	13
ボランティア	17
教育普及	21
調査研究・資料収集	27
学校活用の理念と現状	30
教育センター	34
施設の利用状況	37
広報活動の記録	42
組織図	44
利用案内	44



## ◆はじめに

みのかも文化の森は美濃加茂市の生涯学習・市民文化の拠点として、約9ヘクタールの森に教育センターと博物館、美術館、生活体験館、実習棟、アトリエ棟を組み入れた複合施設として開設しました。企画展や各種講座・イベント、ワークショップ等を実施しながら多くのボランティアの皆さんとともに、広く市内外に交流の場を提供しています。

この文化の森は、建設前に資料収集と整理に20年以上を要し、また完成までにはこれらの資料の活用と施設のあり方を10年以上かけて、何度も研究を重ねてきたソフト最優先の施設です。そのためここには本市の自然・歴史的・文化的な資料が数多く保存され活用されています。

「地域」のミュージアムとして、今年度も多くの展覧会と催し物を開催しました。いずれもこの地域と文化の森の特性からテーマを設定し、それぞれ掘り下げて展示紹介を行いました。展示だけでなく、市民参加型の催し物もあわせて実施し、ここが市民の文化的交流の場となることをめざしています。

養蚕民家を復元した生活体験館では、昔の生活様式や遊びの紹介、機織り、くどで薪を炊いてご飯を炊くなど昔ながらの伝承料理の講座やイベントに参加できます。

このような施設を活用して、市内の保育園や小中学校が、教科の学習や総合的な学習の時間でここでしかできない学習を行います。

教育センターでは土・日を問わず毎日教育相談を受け付け、電話相談や来所相談に応じています。毎日不登校の児童生徒を受け入れ、この施設の中で様々な体験をしたりボランティアの方々と接して心のケアをしながら、児童生徒の学校への復帰を期待しています。また、教職員の研修として広く市民講座を研修に組み入れながら、幅広い知識と経験を持つ教職員の育成を目指しています。

このように文化の森では、事業ごとに学芸員、教師、ボランティアが関わり、本物に触れたり歴史、自然、芸術活動等の体験をしたりして文化をはぐくむことのできるようにと考えています。教育と文化の機能を併せ持った「博学連携施設」として体験、人、情報を軸に、今後も広く「出会いの場」として施設活動していきます。

みのかも文化の森

## ◆ 「みのかも文化の森」とは

みのかも文化の森は、次の4点を理念にしています。

自然との共存を目指した「みのかも文化の森」

緑豊かな開かれた「森」です。

「みのかも文化の森」には、広大な森があります。森の中の散策路を歩きながら、小鳥のさえずりや四季折々の動植物を楽しむこともできます。すばらしい環境の中でこそ、すぐれた創作活動と豊かな文化を育むことができるのではないのでしょうか。この地域に存在していた自然を大切に、安らぎに満ちた「森」を目指します。

学校教育と連携した「みのかも文化の森」

「森の学校」という考え方を持った「森」です。

「みのかも文化の森」には、この地域の文化や歴史的資料、豊かな自然がたくさんあります。それらの素材を生かしながら、様々な体験を通してより深く幅広く学習できる場、それが文化の森です。

市民参加を中心に考える「みのかも文化の森」

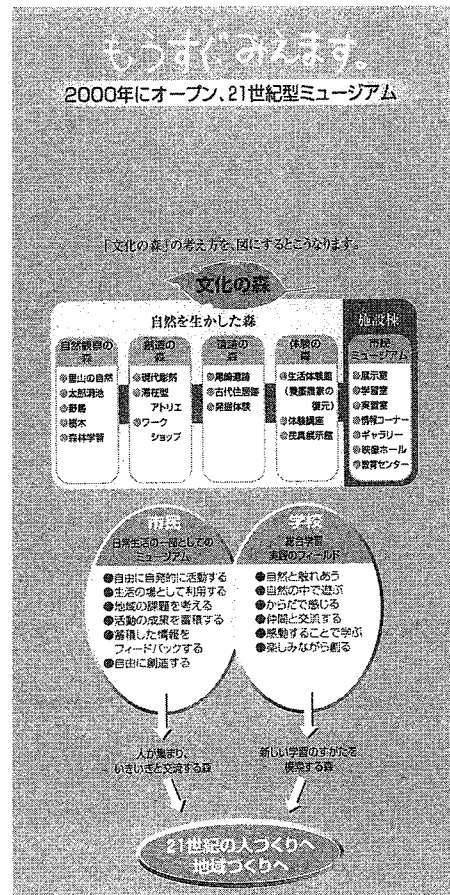
市民と一体、参加型の「森」です。

「みのかも文化の森」では、市民が主人公となって活動を行う環境をこれからも整えていきます。市民の自由な発想と自発的な活動による成果こそが支えとなり、原動力となると考えます。そのような市民の活動力を支えとしながら、新しい取り組みや企画が生まれてくることを願っています。お互いに刺激を与え合い、この地域の教育・文化活動の高まりを目指したいと考えます。

地域に根ざした「みのかも文化の森」

地域づくりを基本に考えた「森」です。

「みのかも文化の森」は市民の日々の生活に密着し、愛されたいと考えています。教育文化といった限定された枠の中だけでなく、広く地域の人々の生活にある課題を話し合い、理解し合い、共有し合うことの出来る場を提供します。地域の人々の生活の向上が、この地域の教育・文化活動のさらなる発展の鍵を握ると考えています。私たちは、市民一人ひとりの自己表現とともに地域社会の成長・発展も目指しています。



平成11年3月に発行したリーフレット「文化の森 もうすぐうまれます」より



## ◆常設展示

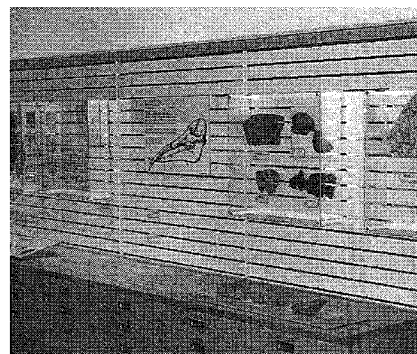
美濃加茂市は、木曾川・飛騨川の合流点に位置しており、その気候や風土、人々の生活などに「川」の存在が大きく影響していたといえます。そこで常設展示では、美濃加茂市と川との関わりに着目し、「川と大地」「川と文化」「川と道」「祈りの世界」「群像美濃加茂」というテーマで構成しています。

そのうち今年度は、一部展示替えを行いました。

群像美濃加茂において、美濃加茂市から犬山市にかけての木曾川の風景について、その美しさを賞賛し、「日本ライン」と命名した志賀重昂を取り上げました。またミニ企画展示において、みのかも文化の森とその周辺で発見されている「尾崎遺跡」について、企画展の開催に伴い、従来よりも展示スペースを拡張して発掘成果を紹介することができました。

### <川と大地>

およそ1,900万年前のキロテリウム（通称カニサイ）と呼ばれる哺乳動物化石と可動する復元模型をはじめ、現在の木曾川にも点在する珪化木の実物資料が展示されています。また、周辺の地層を構成している岩石類も間近で観察することができます。併せて、この地域及び文化の森の中の普段見ることのできない動植物の標本や生態についても展示しています。それらは、四季の移り変わりに合わせて展示替えを行っています。



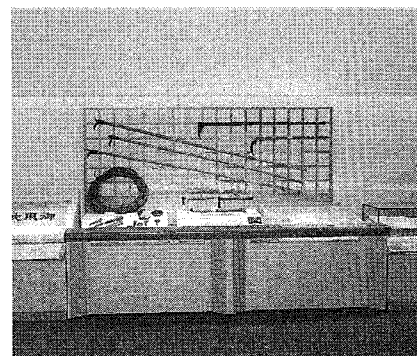
### <川と文化>

旧石器時代及び縄文、弥生を経て中世に至るまで、美濃加茂市内の各遺跡から出土した石器や土器などの暮らしの道具や関連した資料を中心に展示しています。それらは、市域において川と共に暮らした人々の生活をうかがい知ることのできる資料として貴重なものです。



### <川と道>

地理的、歴史的に交通の要衝であった美濃加茂を紹介しています。江戸時代初頭には五街道の一つである中山道において、難所である太田の渡しを控えた重要な宿場町として栄えていました。また、昭和初期までは、木曾や飛騨の山々で伐採された木材を運搬するためにイカダ流しが行われていましたが、美濃加茂市はその中継地としての機能を担っていました。展示室では、イカダを復元製作して川下りを体感できるようになっており、関連資料と併せて展示しています。



### <祈りの世界>

この地域に暮らした人々の精神生活に関係した資料が展示されています。展示品には、棟札など信仰に関する資料のほか、市内から出土した縄文時代の石棒や土偶、様々な装飾品などがあります。

### <群像美濃加茂>

近代日本文学界や演劇において、先駆的、革新的な役割をはたした坪内逍遙や日本の歴史について実証的、科学的な研究方法で捉えなおした津田左右吉らの業績や愛用していた遺品、二人の交流などを示した資料が展示されています。また、その他の先人についても紹介されています。

### <ミニ企画展示>

様々なテーマについて、定期的に展示替えを行っています。現在は2ヶ所設置されており、文化の森と周辺から見かけた尾崎遺跡の出土品と、この地方で「漫俳」という新しい文芸を提唱、確立した岡本一平について紹介しています。

### <生活体験館> (まゆの家)

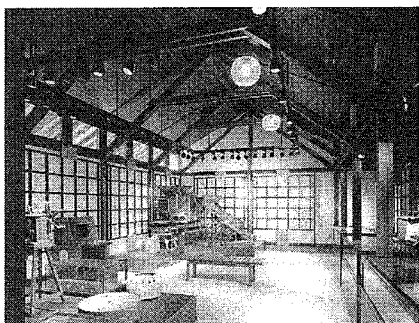
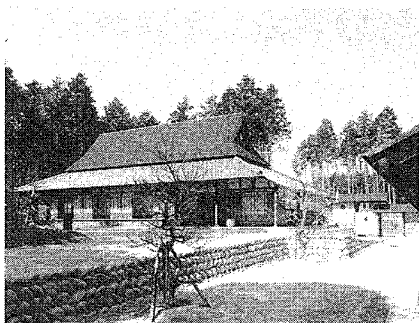
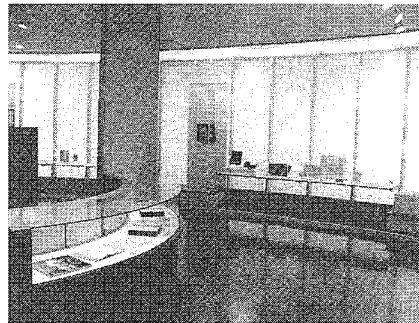
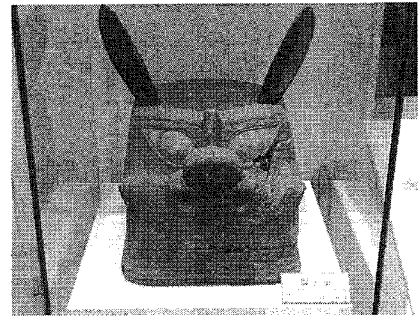
この建物の前身は、明治時代後期に建てられた蜂屋村村長宅の主屋で、大正時代に深田に移築された後、現在の中富町に再び移築されたものです。美濃加茂市内の養蚕の民家を復元した建物からは、養蚕と密接に結びついた生活の様子を随所に見ることができます。

まゆの家や附属施設となる体験工房では、来館者の見学の他、企画展や学校の学習利用、「機織り」や「四季を食べる講座」をはじめ、草木染めなどの「暮らし体験講座」や年中行事、まゆの家まつりなど様々な活動が行われています。

### <民具展示館>

民具展示館は、養蚕や蜂屋柿、農耕などに関する道具を展示・收藏する施設です。

展示部分では、養蚕・蜂屋柿・農耕及び畑作・生活資料1930などがあります。「時代で読み解く民俗誌」というサブタイトルをもつ「生活資料1930」のコーナーでは、昭和5年製造の墨書を持つトワウチが、当時の世相や感慨を細かく伝えてくれています。



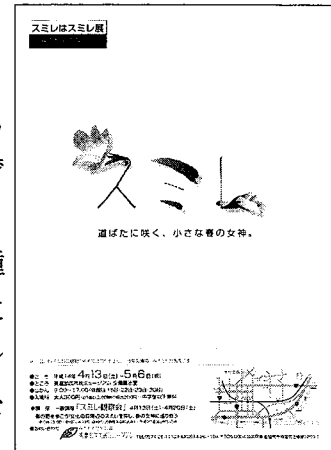
## ◆企画展

### 「スマレはスマレ展 ～みのかものスマレ～」

#### (1) 趣旨

南に木曾川を、北部に森林地帯を有する美濃加茂市は市街地から田畑、野山など変化に富んだ環境の中に、多くの生物をはぐくんできました。

早春、美しいスマレの花が多いのに驚かされるとともに、その種類にも特徴がみられます。西日本と東日本、日本海側と太平洋側に特徴的なスマレ、溪流のスマレなど、この地域を特徴づけるスマレがみられます。知っているようで、意外と知らないスマレの世界を紹介いたしました。



(2) 会期 2002 (平成 14) 年 4 月 13 日～5 月 6 日 <20 日間>

(3) 観覧料 大人 300 円 (200 円)、中学生以下無料  
( ) は 20 名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室

(5) 展示点数 125 点

(6) 関連事業

#### ①自然観察講座「スマレ観察会」

春の野を歩こう！文化の森周辺のスマレを探し、春の女神に巡り会う。

(2002 年 4 月 13 日 (土)、20 日(土)13:00~/参加料:400 円 (資料代・企画展入場料込み))

講師 美濃加茂自然史研究会

企画展の見学、文化の森周辺、山之上富士山周辺の自然観察。

#### ②ミュージアムトーク 2002 年 4 月 29 日 (月)、5 月 3 日

(7) パンフレット 「スマレはスマレ展 ～みのかものスマレ～」 A4 判 4 頁



## 「気持ちの宝物 椎名誠写真展」

### (1) 趣旨

作家であり、写真家の椎名誠氏の写真展を行いました。小・中学生の教科書にもなっている椎名誠氏の自由な表現を写真とコメントでつづった斬新な展示会です。

大人になると、子どもの頃には誰もが持っていた物事を感じ方や素直さというようなものをどこかに忘れてしまっています。今の日本の子どもたちにもそういったものが失われているのかもしれません。

現代社会の人々の忘れかけた「気持ちの宝物」を映し出している椎名氏の写真を紹介いたしました。



(2) 会期 2002 (平成 14) 年 6 月 8 日 (土) ~ 7 月 14 日 (日) <37 日間>

(3) 観覧料 400 円 (300 円)、小中学生 200 円 (150 円)

( ) は 20 名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室・美術工芸室

(5) 展示点数 76 点

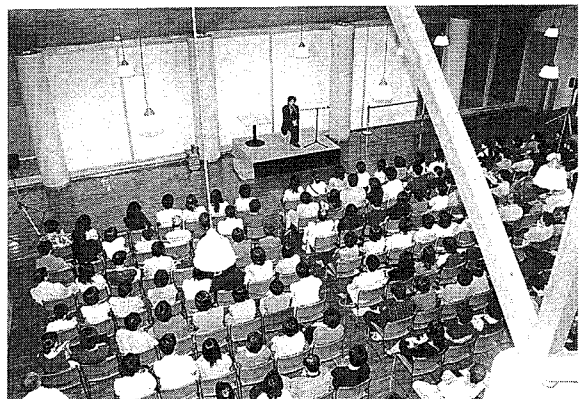
(6) 関連事業

#### ①椎名誠講演会「風まかせ写真館」

(2002 年 6 月 16 日 (日) 19:00~/会場: エントランスホール/入場料 1,000 円 (小中学生 500 円))

#### ②スターシアタ in ミュージアム「白い馬」

(2002 年 7 月 7 日 (日) 19:00~/会場: 緑のホール/入場料無料)



## 「発掘された尾崎遺跡-この地に人が残したもの-」展

### (1) 趣旨

現在、私たちが立っている場所は、みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムとして整備されています。しかしながら、以前は隣接する加茂神社の境内地であり、社殿やその他の祠などの他にはヒノキや草木に覆われ、鬱蒼とした「森」が、長年守られてきた場所でした。

私たちの記憶にあるのは、ここまでです。しかし、それをさかのぼる様々な「過去」が、つまりは「人が残したもの」が、この地に残され、「森」がそれを優しく見守り続けてきたことが判明しました。

文化の森建設に伴い、発掘調査を行うことで、今回紹介された資料以外にも膨大な情報を得ることができ、記録に残すことができました。その成果は現代に暮らす私たちに、この地域の歴史を語る上ではもちろん、過去における当地の重要性なども示唆してくれています。美濃加茂に住む方々、この地を訪れる全ての方々に、「みのかも」の新たな一面を知るためのよい機会となりました。また、発掘調査は具体的に何をすることなのか、実際の出土品について見学者に触れてもらうこと等、遺跡に関わる様々な側面も合わせて紹介することができました。



(2) 会期 2002 (平成 14) 年 7 月 24 日 (水) ~ 9 月 1 日 (日) <34 日間>

(3) 観覧料 一般 400 円 (300 円)、小中学生 200 円 (150 円)

( ) は 20 名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室、美術工芸展示室

(5) 展示点数 138 点

(6) 関連事業

①ミュージアムフォーラム「須恵器からみた古代の尾崎遺跡」

(2002 年 8 月 18 日、14:00~15:30/会場：緑のホール/参加料無料)

講師 城ヶ谷和広氏 (愛知県立豊田南高等学校)、渡辺博人氏 (各務原市教育委員会)

②夏休み子供講座「尾崎遺跡を掘る」

(2002 年 8 月 3~4 日、9:00~16:00/会場：遺跡の森/参加料 200 円)

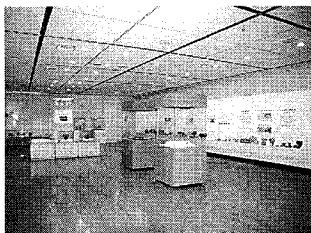
③アートな 1 日講座「縄文の土器づくり」

(2002 年 8 月 25 日、13:00~16:00/会場：陶芸室/参加料 700 円)

④ミュージアムトーク

(2002 年 7 月 25 日 (木), 28 日 (日)、11:00~12:00、14:00~15:00/会場：企画展示室、美術工芸展示室/参加料無料)

(7) 図録 『「発掘された尾崎遺跡-この地に人が残したもの-」展』 A4 判 26 頁



## 「ミノ」「カモ」の古代-御野国戸籍から1300年-展

### (1) 趣旨

御野国戸籍は、大宝2年(702)に作られた現存する最古の戸籍であり、なかでも加毛郡半布里戸籍は、美濃加茂市とも関係の深い史料です。

この御野国戸籍が作られて平成14年(2002)で1300年目になるのにあわせて、本企画展が開催されました。本展では「ミノ」「カモ」の古代史について、文献史料や古代瓦を中心に紹介し、解説しました。

ちなみに、この『「ミノ」「カモ」の古代』とは、「美濃国と加茂郡の古代」という意味であり、同時に、「美濃加茂市の古代」という意味でもあります。

(2) 会期 2002(平成14)年9月14日(土)～10月14日(月) <31日間>

(3) 観覧料 一般300円(200円)、小中学生150円(100円)

( )は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室

(5) 展示点数 50点

(6) 関連行事

#### ① 講演会『戸籍が語る702年の「ミノ」「カモ」』

講師 新川登亀男氏(早稲田大学教授)

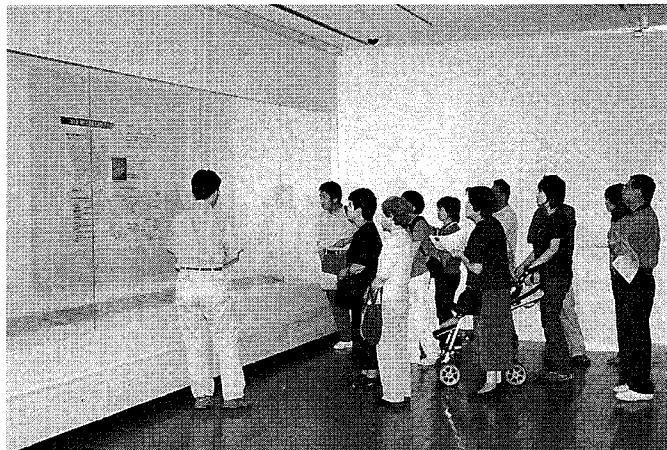
(2002年10月6日(日) 14:00～15:30/会場:緑のホール/参加料無料)

#### ② ミュージアムトーク

(2002年9月15日(月)、9月23日(月) 11:00～12:00、14:00～15:00/会場:企画展示室/参加料:観覧料)

(7) 図録

『「ミノ」「カモ」の古代-御野国戸籍から1300年-』展示図録 A4判 31頁



## 「太田三郎」展

### (1) 趣旨

植物の種子を和紙に封じこめた作品、切手や郵便制度を利用した作品など、「時間」「自然」「場所」をテーマに広く活躍している太田三郎氏の作品を展覧いたしました。

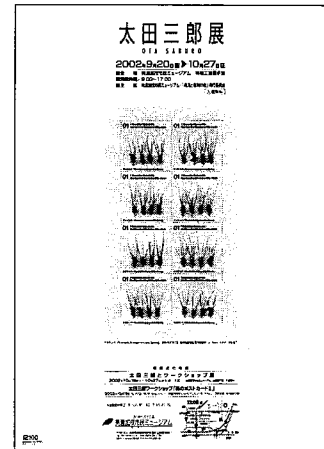
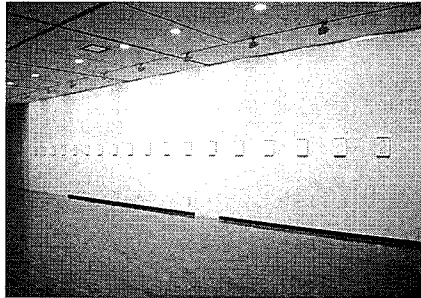
美濃加茂で採集した種子の作品など、約40点を展示いたしました。

(2) 会期 2002(平成14)年9月20日(金)～10月27日(日)

(3) 観覧料 無料

(4) 会場 美術工芸展示室

(5) 展示点数 41点



## 「太田三郎ワークショップ」展

### (1) 趣旨

自己の存在証明をテーマとして、切手や郵便制度を利用した作品で知られるアーティスト、太田三郎氏とともに、季節のうつりかわりを参加者がデジタルカメラで撮影し、ポストカードに仕上げる「太田三郎ワークショップ～森のポストカード」を開催しました。

延べ100人の参加者の426枚のポストカードを展示いたしました。

(2) 会期 2002(平成14)年10月19日(土)～10月27日(日)

(3) 観覧料 無料

(4) 会場 企画展示室

(5) 展示点数 ワークショップ参加者の作成したポストカード426枚

### (6) 関連事業

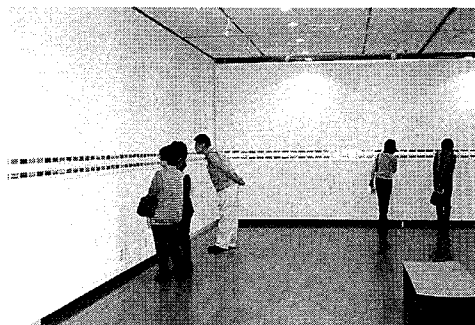
#### ①太田三郎ワークショップ～森のポストカード～

2002年4月28日(日)

森のうつりかわりを参加者がデジタルカメラで撮影し、パソコンに取り込んでポストカードに仕上げました。

#### ②2002年10月13日(日)

同上



## 色と形と冒険「坂井範一とゆかりの作家」展

### (1) 趣旨

美濃加茂市民ミュージアムでは、開館以来、「この地ゆかりの作家たち」「芸術と自然」という2つのテーマのもとに、美術家たちの活躍を広く紹介する展覧会を行ってきました。

本展は、1899年(明治32)、加茂郡蜂屋村(現美濃加茂市蜂屋町)に生まれ、この地域の美術界に多大な功績を残した、洋画家・坂井範一(1899～1981)に焦点をあてるとともに、坂井範一ゆかりの作家たちをあわせて紹介いたしました。

(2) 会期 2003(平成15)年2月8日(土)～3月23日(日)

(3) 観覧料 一般500円(350円) 小中学校250円(150円)

※( )内は、20名以上の団体料金及びかるちすとくらぶ料金

(4) 会場 企画展示室、美術工芸展示室

(5) 展示点数 坂井範一作品20点と氏ゆかりの作家6名(加藤金一郎、丹羽和子、成田真澄、神谷幸子、御宿正司、小本章)の作品24点

### (6) 関連事業

#### ①講演会：「坂井先生とふるさと」

講師 御宿正司氏(岐阜大学名誉教授)

(2003年2月11日(祝)14:00～15:30/会場：緑のホール/参加料無料)

#### ②朗読会：坂井範一の随想より

朗読 みのかも「声のドラマ」の会

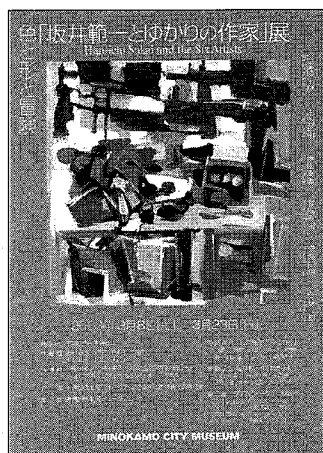
(2003年3月1日(土)14:00～15:30/会場：緑のホール/参加料無料)

#### ③ミュージアムトーク：作品解説会

(2003年2月9日(日)、3月16日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00

会場：企画展示室・美術工芸展示室/参加料：観覧料)

(7) 図録 『色と形と冒険「坂井範一とゆかりの作家」展』 A4判40頁





## ◆特別展示

平成14年度中に開催した展示会の中で、企画展以外の展示を紹介いたします。

### 蚕とまゆ展02

#### (1) 趣旨

「おカイコさま」は近代美濃加茂の歴史でもあります。かつて、この地域の経済の中心として養蚕は盛んに行われていました。

本展では、養蚕が盛んだった頃の道具を中心に、カイコの標本や、写真資料もあわせて紹介しながら、養蚕が盛んだった当時の人々がどのようにしてカイコを育て、まゆを生産していたのかを解説しました。

(2) 会期 2002(平成14)年6月20日(木)～8月4日(日) <46日間>

(3) 観覧料 無料

(4) 会場 生活体験館まゆの家

(5) 展示点数 30点

(6) 関連行事

#### ①「カイコガの不思議世界」

2002年(平成14)年7月25日 10:00～

市内で実際に養蚕を行っている施設・農家を見学し  
カイコガの生態を観察しました。



### 地域ゆかりの作家「小川博史」展

#### (1) 趣旨

美濃加茂市蜂屋町で生まれた洋画家・小川博史(日展参与)は幅広く活躍中です。

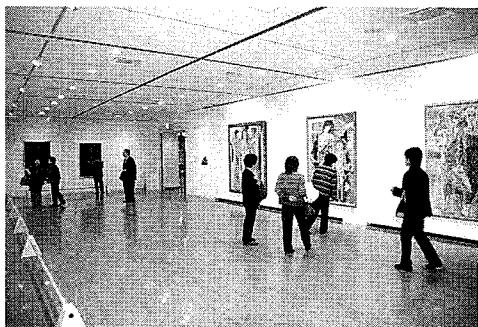
独自の色調とタッチにより、ギリシャ神話を題材にしたものなど、歴史と風土の中に生きる人間への思いをテーマにして制作を続ける小川博史の世界をご紹介します。

(2) 会期 2002(平成14)年12月14日(土)～2003(平成15)年1月26日(日)  
<44日間>

(3) 観覧料 無料

(4) 会場 美術工芸展示室

(5) 展示点数 12点(作家所蔵10点と館所蔵2点)



2002年12月14日(土)～2003年1月26日(日)  
会場/中のみち文化の館美濃加茂市民ミュージアム美術工芸展示室  
14号 2階

## 暮ラシカル道具展03

### (1) 趣旨

本年度は、『昔の人の「力仕事」』をテーマに展示を行いました。

現在は、土木工事や加工作業の多くが自動化されています。しかし、少し前までこれらの仕事は人の力で行われていました。ただ、人ひとりの力には限界があります。そこで、かつては、限られた力を効率よく発揮させる道具や、多くの人の力を集中させる道具が用いられていました。このような「力仕事」に関する道具に焦点を当て、昔の人の知恵と工夫を紹介しました。

(2) 会期 2003 (平成15) 年1月15日 (水) ~2月16日 (日) <33日間>

(3) 観覧料 無料

(4) 会場 生活体験館まゆの家

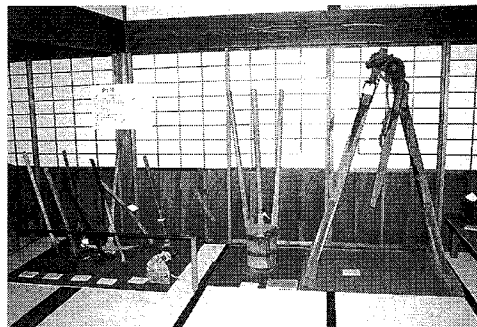
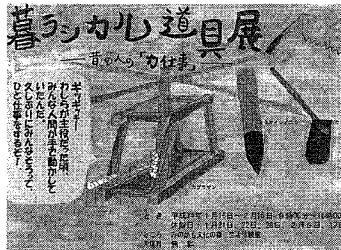
(5) 資料点数 約25点

### (6) 関連行事

#### ① 展示資料実演会

(2003年2月15日 13:30~15:30/生活体験館まゆの家/自由見学)

暮ラシカル道具展の関連イベントとして、生活体験ボランティアの方に木材の加工道具であるカンナ・チョウナの使い方と、運搬道具であるビクの製作の実演をしていただきました。



## 第47回美濃加茂市美術展

### (1) 趣旨

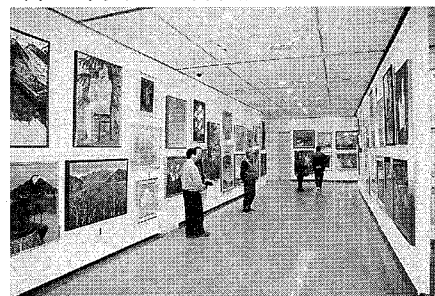
美術との身近なふれあいの場として、文化の発展のために、市内外から広く作品を公募し、一般に公開することを目的としています。

(2) 会期 2002 (平成14) 年11月23日 (土・祝) ~12月1日 (日) <9日間>

(3) 観覧料 無料

(4) 会場 企画展示室・美術工芸展示室・エントランスホール・展示ホール

(5) 展示点数 277点 (日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の5部門)



## ◆市民参画

みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムは、その理念に「市民参加を中心に考える」を挙げています。ここでは、「市民が主人公となり、自由な発想と自発的な活動」で計画・実施された催しを紹介します。

### (1) 森のコンサート

#### ①春のコンサート

と き 2002(平成14)年5月5日(日) 1回目・11:00～2回目・14:00～

ところ 芝生広場

参加料 無料

演 奏 名古屋大学フォルクローレ同好会

内 容 森のコンサートとして「フォルクローレ演奏会」を美濃加茂音楽連盟と文化の森で企画し開催しました。

南米に伝わる民俗音楽とスペイン人の持ち込んだ西洋音楽と融合してできた新しい民俗音楽を、青空の下でみなさんに楽しんでいただきました。

「楽しく聞かせてもらいました。野外で聞くのもまたよいものだと思います。」等々の感想をいただき大好評でした。

また、JRさわやかウォークのコースとしてみのかも文化の森にたくさんの方が来館され、コンサートを楽しみながら休息をとられる姿が見られました。



#### ②サマーナイトコンサート

と き 2002(平成14)年8月10日(土) 19:00～20:00

ところ 実習棟テラス、芝生広場

参加料 無料

演 奏 THE TAP(ハワイパント)・プアケニケニ(フラダンス)

内 容 夏の夜を音楽で楽しんでいただこうとサマーナイトコンサートとして、美濃加茂音楽連盟と文化の森とで企画しハワイアンとフラダンスをおこないました。

250名ほどの方が来場され、音楽とダンスを楽しまれ「今後もこのようなコンサートを」等々の感想をいただき大好評でした。



### ③バレンタインコンサート

と き 2003(平成15)年2月1日(土) 14:00~15:00

ところ エントランスホール

参加料 無料

演 奏 近藤 薫 (ハープ)

内 容 バレンタインコンサートと題して、名古屋芸術大学ハープ科講師・日本ハープ協会中部支部支部長として活躍中の近藤薫さんによるハープコンサートを美濃加茂音楽連盟と文化の森とで企画しました。200名ほどの方が来館され、エントランスに響き渡るハープの音色に「とても素敵でハープの楽器が間近に見えて良かった」等々の感想をいただき大好評でした。



### (2) 春・朗読の一日

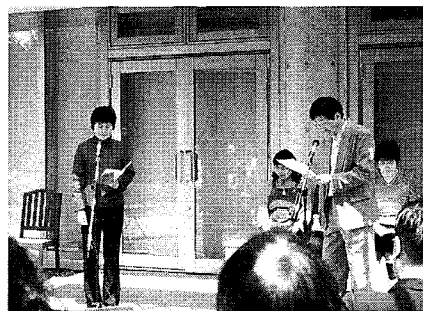
と き 2002(平成14)年4月28日(日) 11:20~15:30

ところ 緑のホール、実習棟テラス、生活体験館

来場者 約600名

出 演 市内外の25グループ 84名

内 容 「実行委員会」(代表・高野春廣さん)に委託して実施。文化の森の3会場において自由なスタイルで朗読を行いました。うらかな春の一日、来場者は各会場に足を運び朗読の世界を楽しみました。また、終了後生活体験館において出演者の皆さんの交流会が行われ、情報交換などにより親睦を深めました。



### (3) 森の朗読会

- と き 2002(平成14)年 4月20日(土) 「トム・ティット・トット」「晴れた空の下で」他  
2002(平成14)年 5月18日(土) 「あるはれたひに」「あとに残された人へ」他  
2002(平成14)年 6月15日(土) 「山医者のお読みグスリ」  
2002(平成14)年 7月20日(土) 「さるのひとりごと」「金魚のよしこちゃん」他  
2002(平成14)年 8月17日(土) 「寄りかからず」「和解」「花さき山」他  
2002(平成14)年 9月21日(土) 「足のあるへび」「おばあちゃん」他  
2002(平成14)年 10月19日(土) 「猫は生きている」

2002(平成14)年 12月21日(土)「かあちゃん」

2003(平成15)年 1月18日(土)「くもの糸」「私を束ねないで」他

2003(平成15)年 2月15日(土)「いいこといいこと」「桃子」「家族」

2003(平成15)年 3月15日(土)「はせがわくんきらいや」「字のない葉書」他

ところ 緑のホール

内 容 11月を除く毎月第3土曜日の午後(14:00~15:00)、みのかも「声のドラマ」の会のメンバーによる朗読会が行われました。出演は会所属のグループで、童話、エッセイ、小説などを題材に、思い思いの朗読を上演しました。

#### (4) 第3回まゆの家まつり

と き 2002(平成14)年 11月23日(土)、24日(日)、各日10:00~15:00

ところ 生活体験館

主 催 まゆの家まつり実行委員会(生活体験館ボランティア、伝承料理の会、学習支援ボランティア)

参加料 無料

参加者 一般

内 容 本年第3回目を迎えるまゆの家まつりは、テーマに「ちょっと昔の遊びと暮らし~みんなで作って・みて・食べる~」と題して開催しました。ボランティアのみなさんと一緒に昔から伝わる遊びや生業を体験して、楽しく過ごしました。

伝承料理

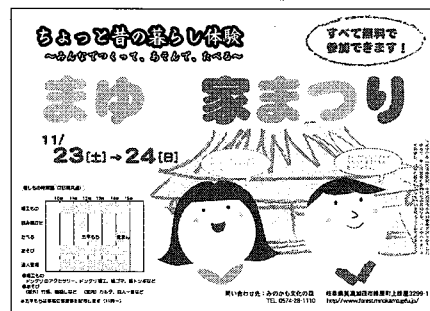
- ・五平餅・おにまん

生活体験

- ・ハタオリ(含イトツムギ)
- ・ワタノミトリ
- ・遊び(竹馬、輪まわし、メンコなど終日)
- ・作る(どんぐり・ジュズダマ細工、コマ細工、竹細工など)

学習

- ・読み聞かせ(11:30-12:00、13:30-14:00)
- ・カルタ・坊主めくりなど



### (5) 朗読フェスティバル

と き 2002(平成14)年11月16日(土)、17日(日)

ところ 緑のホール

出演など 12グループ(107名)、来場者延べ600名

内 容 第3回(平成8年度)坪内逍遙大賞受賞者・加藤道子氏の朗読講座を機に、みのかも「声のドラマ」の会(代表:森優美子)が発足して「美濃加茂を朗読まちに」と活動し、朗読講座(指導:放送表現教育センター)などを行っています。受講生は学んだ成果の発表会として実施し、あわせて、指導していただいた講師による朗読も行われました。



### (6) アートボランティアビデオ上映会

J. S. Gボッグス「マネーマン」

と き 2003(平成15)年3月9日(日) 14:00~15:00

ところ 緑のホール

内 容 アートボランティアが中心となり、第2回ゴールデンアート劇場として企画、運営を行いました。

この「マネーマン」という作品は、紙幣を精巧に描いて自分のサインを入れた後、それを実際に額面どおりに使う活動を行っているアーティストであるJ. S. Gボッグスの姿をドキュメンタリーとしてまとめたものです。

## ◆みのかも文化の森ボランティア

みのかも文化の森では、2000年10月のオープン当初から、多くの方々がボランティア活動をしています。「文化の森で何かしたい」という想いを持ったボランティアの活動は、来館者と文化の森をつなぐ重要なパイプであり、文化の森の大きな特徴になっています。

### 1. 目的

- ①文化の森と来館者および地域の人々との橋渡しの役割を果たしてもらい、より親しまれる文化の森とするため。
- ②多様な経験や技術、柔軟な発想などを文化の森の事業や運営に生かし、利用者のサービスを充実していくため。
- ③市民の皆さんの自発的な学習の場と社会還元の場として文化の森を有効に利用してもらうため。

### 2. 各ボランティアの活動内容

- ・展示ガイド・・・主に、常設展示室内で展示の解説などを行います。
- ・アート・・・文化の森の講座のお手伝いや自主企画のイベントを行います。
- ・生活体験・・・主に生活体験館（まゆの家）・民具展示館で、来場者への解説や講座やイベントでの講師・お手伝いを行います。
- ・学習支援・・・児童・生徒が文化の森で学習する際にお手伝いをします。
- ・伝承料理の会・・・生活体験館のクドを使うなどして、「四季を食べる講座」でこの地域に伝わる料理を教えています。

※基本的には、ボランティアの方々の都合の良い時に活動していただいています。

### 3. その他

資格 18才以上ならどなたでも。経験・性別、美濃加茂市民か否かは問いません。

報酬 無償です。

特典 みのかも文化の森が主催する他館の視察や見学会に参加できます。

企画展等へ団体料金で入場ができます。

活動中、万一の事故に備え、市の負担でボランティア保険に加入いたします。

### 4. 世話人会と広報紙「つぶらじい」編集委員会

各分野の中で2人ずつ世話人を選出します。5つの分野の世話人と文化の森の職員とで世話人会を構成します。本会は必要に応じて文化の森が会を召集し、その時の議題について話し合います。

また、各分野から1名ずつ広報編集委員を選出し、3ヶ月に一回程度の広報紙「つぶらじい」を発行しています。



## 5. 研修

ボランティアとして活動するにあたり、必要な知識や経験を学んでいただくために研修会を行います。ボランティア登録したすべての方を対象とした全体研修と個々の分野の、より専門的な知識・経験を得るための個別研修があります。平成14年度中に開催した研修は下記の通りです。

### (1) 全体研修

- ①2002（平成14）年4月16、21日 第1回 企画展解説会  
企画展「スマレはスマレ」展の展示解説会に参加。
- ②2002（平成14）年4月27日 新規ボランティア説明会  
新しく文化の森のボランティアに関心のある人に、ボランティアの活動内容や研修について説明し、質疑をおこなう。
- ③2002（平成14）年6月8日 第1回 世話人会  
平成14年度の世話人の顔合わせ、事業報告を行う。
- ④2002（平成14）年6月20、22日 第2回 企画展解説会  
企画展「気持ちの宝物－椎名誠写真展－」の展示解説会を開催に参加。
- ⑤2002（平成14）年6月22日 第2回 みのかも文化の森 ボランティア交流会  
アートボランティアが取り組んでいる「森のポストカード作り」に参加。アートボランティアが中心となり、会を進める。活動の趣旨の説明後、文化の森の森の中で植物や動物の写真を撮影。後日、「太田三郎とワークショップ展」に展示。
- ⑥2002（平成14）年8月1、11日 第3回 企画展解説会  
企画展「発掘された尾崎遺跡－この地に人が残したもの－」展の展示解説会に参加。
- ⑦2002（平成14）年9月11、16日 第4回 他館見学研修会
  - 1) 岡崎市美術博物館……企画展「遙かなるイスタンブール 大トルコ展」を見学。  
岡崎市美術博物館の学芸員から建設の経緯や企画展についての説明を受ける。
  - 2) 飛騨高山美術館……常設展示室を見学。  
飛騨高山美術館の学芸員から展示についての解説を受ける。
- ⑧2002（平成14）年9月21、27日 第5回 企画展解説会  
企画展『「ミノ」「カモ」の古代』、「太田三郎展」の展示解説会に参加。
- ⑨2002（平成14）年11月8日 第6回 全体研修会  
ミュージアムフォーラム「交流する博物館」に参加。一宮市博物館の学芸員から、一宮市博物館の取り組みやボランティアとの関係について話を聞く。
- ⑩2003（平成15）年3月1、4日 第7回 企画展解説会  
企画展「色と形と冒険 坂井範一とゆかりの作家」展の展示解説会に参加。
- ⑪2003（平成15）年3月23日 第2回 世話人会  
14年度の活動などについてまとめを行う。





## (2) 個別研修・会議など

### □展示ガイド

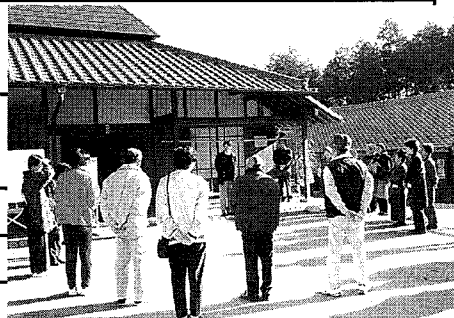
4/21	中山道広重美術館見学
8/18	ミュージアムフォーラム「須恵器から見た古代の尾崎遺跡」参加
8/23	企画展「発掘された尾崎遺跡」展についての勉強会
9/29	富加町で開催の御野国半布里 1300 年祭関連イベントに参加
10/26	朝倉氏城館跡及び美濃加茂の中世の研修
2/22	ミュージアムフォーラム「旧石器時代～縄文時代初頭期の社会と文化」講演会

### □アートボランティア

4/9	アートボランティア定例会（第 21 回）
4/28	「太田三郎ワークショップ<春>～森のポストカード～」太田三郎さんをサポート (このワークショップ後、秋までアートボランティアを中心にポストカード作成を継続)
5/14	アートボランティア定例会（第 22 回）
5/26	ポストカード作成（美濃加茂ライオンズ主催）のサポート アートな 1 日講座「陶芸」のサポート
6/11	アートボランティア定例会（第 23 回）
6/23	アートな 1 日講座「銅版画」のサポート
7/9	アートボランティア定例会（第 24 回）
7/20	太田三郎さんにポストカード作成の経過を報告（太田三郎さん来館）
7/28	アートな 1 日講座「陶芸」のサポート
8/6	アートボランティア定例会（第 25 回）
9/10	アートボランティア定例会（第 26 回）
9/19	「太田三郎展」内覧会（太田三郎さん来館）
10/8	アートボランティア定例会（第 27 回）
10/13	「太田三郎ワークショップ<秋>～森のポストカード～」太田三郎さんをサポート
10/17	「太田三郎とワークショップ展」展示
10/19～10/27	ワークショップ展監視
11/12	アートボランティア定例会（第 28 回）
12/4	野外彫刻清掃
12/10	アートボランティア定例会（第 29 回）
12/22	アートな 1 日講座「高島純さんとクリスマスカード」のサポート
1/15	アートボランティア定例会（第 30 回）
1/26	アートな 1 日講座「ミニチュア火鉢でアート」のサポート
2/18	アートボランティア定例会（第 31 回）
3/5	第 2 回ビデオ上映会「マネーマン」の最終打ち合わせ
3/9	第 2 回ビデオ上映会「マネーマン」開催
3/11	アートボランティア定例会（第 32 回）
3/23	アートな 1 日講座「陶芸」のサポート

## □生活体験

4/12	生活体験ボランティア運営委員会（4～5月の講座について）
5/10	生活体験ボランティア運営委員会（5月の講座について）
5/26	生活体験ボランティア全体会（今後の予定について）
6/14	生活体験ボランティア運営委員会（6月の講座、当番表について）
7/12	生活体験ボランティア運営委員会（7～8月の講座について）
8/9	生活体験ボランティア運営委員会（8月の講座について、当番表の調整）
9/20	生活体験ボランティア運営委員会（10月～12月の講座について）
10/12	生活体験ボランティア運営委員会・全体会
11/8	生活体験ボランティア運営委員会（まゆの家まつりについて）
12/20	まゆの家大掃除・生活体験ボランティア運営委員会
1/10	生活体験ボランティア運営委員会
2/14	生活体験ボランティア運営委員会
3/14	生活体験ボランティア運営委員会・全体会



## □学習支援

4/12	学習支援ボランティア顔合わせ会
6/4	市立太田小学校・総合的な学習の時間「おいちょうタイム」授業参観

## □伝承料理の会

5/30	土方紀代子さんと語る会
11/22	まゆの家まつり準備
1/9	手作り豆腐リハーサル
1/19	役員会議（新年度活動計画）
2/25	じねんじょ料理リハーサル
3/12	「伝承料理の会」総会
3/18	薬膳料理の研究研修会（春日モリモリ村）

※学校活用、文化の森以外が主催する研修講座等での講師としての活動は含まない。

## 6. 平成14年度の最終登録数

	展示ガイド	アート	生活体験	学習支援	伝承料理	全体(のべ)
平成14年度	12	21	36	26	41	136

## ◆教育普及

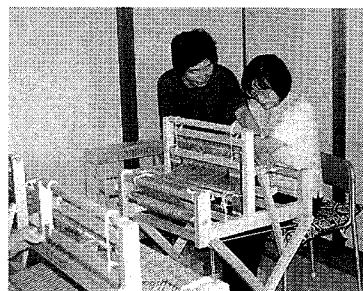
### 1. 各種講座

#### (1) 『定期講座』

美濃加茂市民ミュージアムでは、事前に受講生を募集して継続的に行う各種講座を開講しています。それらは、市民ミュージアムの特色を生かした内容となっています。

平成14年度開講の定期講座は、「銅版画」「機織り」「声のドラマ（朗読）」「シルバークレイ」「デッサンからはじめる彫刻講座」の計5講座です。

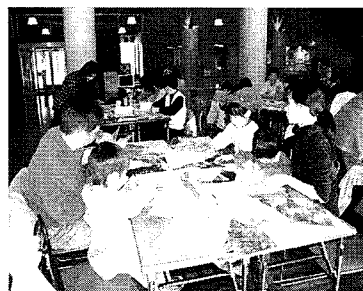
名 称	開催期日	回数	受講者
銅版画講座	5/19～6/30	4	8人
機織り講座(初級の1)	5/15～6/14	10	5人
機織り講座(初級の2)	10/2～11/1	10	5人
声のドラマ（朗読）	6/8～11/2	6	119人
シルバークレイ	10/23～12/4	4	19人
デッサンからはじめる彫刻講座	2/12～3/5	4	6人
機織り講座（中級）	1/15～2/14	10	5人



#### (2) 『アートな一日講座』

市民ミュージアムに当日訪れた来館者が、気軽に美術関連の体験を行うことができる講座です。当館には、陶芸制作に伴う各種施設やフィールドとしての森に恵まれており、それらに関連したものや企画展とタイアップさせた内容で開講しています。

名 称	開催日
森のポストカード①（太田三郎ワークショップ）	4月28日
陶芸（手びねり+ろくろ）	5月26日
ミニミニ銅版画（額付）	6月23日
陶芸（手びねり）	7月28日
縄文の土器づくり	8月25日
オリジナルてん刻	9月22日
森のポストカード②（太田三郎ワークショップ）	10月23日
テーブルコーディネート（クリスマスで飾る）	11月24日
高島純クリスマスカード	12月22日
ミニチュア火鉢のキャンドル	1月26日
陶芸（手びねり）	2月23日
陶芸（手びねり+ろくろ）	3月23日



(3) 『森と暮らしの体験講座』

① 「四季を食べる」

市民ミュージアムで活動するボランティアである「伝承料理の会」と共に当日の来館者が、この地域で伝統的に伝わる四季折々の料理を作って、食べる体験をする講座です。各家庭でそれが作られていた頃を皆で思い出し、その良さを話します。

名 称	内 容	開 催 日
四季を食べる①	春のおむすび	4月21日
四季を食べる②	たけのこごはん	5月14日
四季を食べる③	手打ちそば	5月19日
四季を食べる④	豆ご飯	6月4日
四季を食べる⑤	朴葉餅	6月16日
四季を食べる⑥	ところ天	7月2日
四季を食べる⑦	ミョウガ寿司	7月21日
四季を食べる⑧	そうめん	8月6日
四季を食べる⑨	すいとん	8月18日
四季を食べる⑩	利休まんじゅう	9月3日
四季を食べる⑪	栗おこわ	9月15日
四季を食べる⑫	おにまん	10月1日
四季を食べる⑬	おはぎ	10月20日
四季を食べる⑭	へぼご飯	11月12日
四季を食べる⑮	手作りこんにゃく	12月3日
四季を食べる⑯	餅つき・大歳のゴッツオ	12月15日
四季を食べる⑰	粕汁	1月19日
四季を食べる⑱	手作り豆腐	2月4日
四季を食べる⑲	ひなあられ・白酒	2月16日
四季を食べる⑳	芋もち	3月4日

② 「くらし体験」

かつては、どこの家庭でも行われていた、昔懐かしい日常の1コマを再現します。生活体験館まゆの家を中心として、参加者と生活体験ボランティアが一緒になって体験活動するものです。

名 称	内 容	開 催 日
くらし体験①	お茶摘み体験	5月4日
くらし体験②	季節を染める①	5月25日
くらし体験③	季節を染める②	8月24日
くらし体験④	季節を染める③	10月26日
くらし体験⑤	達人竹籠をあむ	12月7日
くらし体験⑥	たこつくり	12月14日

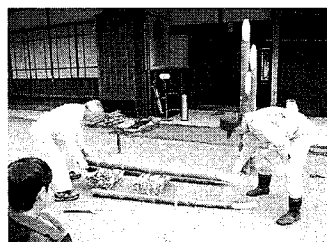


くらし体験⑦	ミニ門松づくり	12月21日
くらし体験⑧	季節を染める④	1月25日
くらし体験⑨	まゆびな講座	2月8日

### ③「生活体験館まゆの家 年中行事」

私たちの暮らしは、一年のうちで決まった時期に行われる儀式や催し物によって季節が意識されています。まゆの家でも来館者と共に行っています。

名 称	開 催 日
鯉のぼり立て	4月21日～5月5日
夜空に願いをかけて、七夕かざり	6月30日～7月7日
門松かざり	12月21日
鏡開き	1月11日
節分	2月2日
ひなまつり	2月8日～3月3日



### ④「森の体験」

市民ミュージアムの敷地内に広がる森を活動の場として、その遊び方や楽しみ方について視点を変えながら体験するものです。野鳥観察や森の間伐体験、椎茸の菌打ち等が開催されています。

名 称	内 容	開催日
森の道づくり	森の中を歩き来する道の整備	5月11日
どんぐりころころ	拾ったどんぐりで工作	10月12日
森の間伐と下草刈り	間伐と下草刈りの体験	11月30日
椎茸の原木づくり	原木づくりの体験	2月22日



### ⑤「自然観察教室」

文化の森とその周辺には、たくさんの自然が残されています。そこで生きる草花や昆虫、動物達の活動に目を向ける講座です。

名 称	内 容	開催日
スミレ観察会	文化の森周辺を散策し	4月13日
スミレ観察会	春のスミレをさがす	4月20日
虫の音を聞く会	文化の森周辺で聞ける虫の観察	9月8日
野鳥観察会	雨天のため中止	1月18日



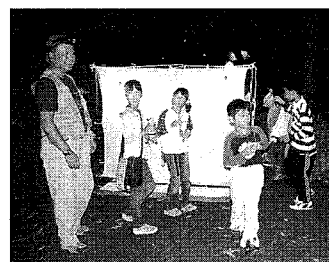
#### (4) 『ミュージアムトーク』

自然、考古、歴史等の各分野から構成される常設展示室の解説を来館者に対して行うものです。一方向の説明ではなく、参加者の疑問に答えながら進めていきます。定期的に行うものと団体見学時に行うものがあります。日本語だけではなく、手話、英語、ポルトガル語でも行いました。

## 2. 夏休み子ども講座

市民が地域の歴史や自然、文化に目を向け、次世代に受け継がれていくことを願うという観点から、児童・生徒が夏期休暇の期間中に親子参加型の講座を企画しました。全ての講座は、当館を活動の場としています。

名 称	内 容	開催日
カイコの不思議世界	養蚕農家や研究所の見学	7月24日
ナイトサファリ①	夜の文化の森を探検し	7月26日
ナイトサファリ②	昆虫など生き物の観察	8月10日
尾崎遺跡を掘る	発掘体験し、出土品を整理し調べた結果などについて自分だけの1冊の報告書を作る	8月3日、4日
森でうたた寝と蓄音機を聞く	蚊帳をつる体験をし併せて蓄音機で音楽を聴く	8月10日



## 3. その他のイベント

### (1) ミュージアムフォーラム

『須恵器からみた古代の尾崎遺跡』

と き 2002 (平成14)年8月18日(日) 14:00~15:30

ところ 緑のホール

内 容 講師として、城ヶ谷和広氏(愛知県立豊田南高等学校)、渡辺博人氏(各務原市教育委員会)をお迎えし、『須恵器からみた古代の尾崎遺跡』と題して講演いただきました。企画展「発掘された尾崎遺跡-この地に人が残したもの-」の関連イベントとして、みのかも文化の森(尾崎遺跡)から出土した古墳時代の須恵器を中心に、実際の出土品を示しながら当時の様相を紹介していただきました。



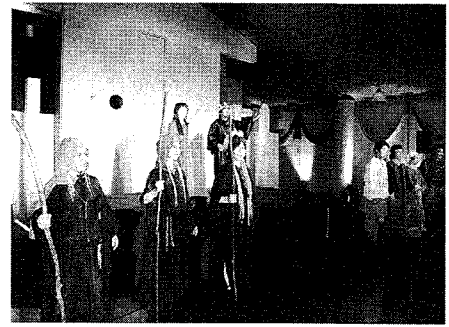
(2) 文化の森2周年記念祭 野外劇「マクベス」

と き 2002(平成14)年9月28日(土)開演18:00

ところ みのかも文化の森 エントランスホール

出 演 劇団 近代座

内 容 坪内逍遙生誕の街の事業として、また、文化の森オープン2周年の記念事業として開催いたしました。野外劇「マクベス」は、長年美濃加茂市の市民演劇に寄与していただいている根本嘉也氏の主宰する「劇団近代座」(東京)が上演しました。



昨年の「リヤ王」と同様のスタッフが出演し、シェークスピア作・坪内逍遙訳の演劇を市民のみなさんに楽しんでもらうことができました。

今年は、雨天のため、残念ながら文化の森のエントランスで上演しました。

(3) ミュージアムフォーラム『交流する博物館』

と き 2002(平成14)年11月8日(金)

ところ 研修室

内 容 講師に久保禎子氏(一宮市博物館学芸員)を迎えて、博物館同士、学芸員同士の「横のつながり(=交流)」について講演いただきました。

「あいち子どもミュージアムキャラバン」での取り組みを例に、館種の異なるミュージアムがつながりを持つことの効果を紹介していただきました。

また、小学3年生を対象として展示を開始し、学芸員という立場から来館者との交流についてもお話いただきました。

(4) ミュージアムフォーラム

『旧石器時代～縄文時代初頭期の社会と文化』

と き 2003(平成15)年2月22日(土) 14:00～15:30

ところ 緑のホール

内 容 講師として、白石浩之氏(愛知学院大学教授)をお迎えし、『旧石器時代～縄文時代初頭期の社会と文化』と題して講演いただきました。近年、前期旧石器捏造で揺れた旧石器時代を中心として、当時の人々の暮らしぶりや研究の成果について、わかりやすく紹介していただきました。

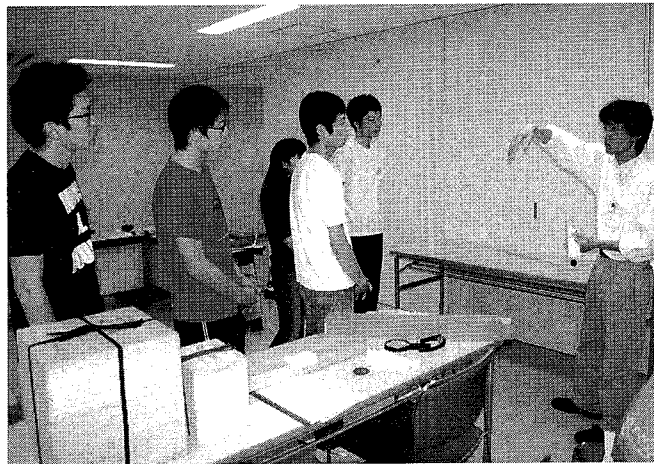


#### 4. 博物館実習

博物館において、資料の収集、保存、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項を司る職員が学芸員です。学芸員資格は、国による資格試験もしくは大学で必要な単位を修得することによって取得することができますが、博物館学芸員養成過程をもつ各大学の養成により、下記のとおり実習を実施しました。

- ・期 間 2002 (平成 14) 年 7 月 30 日 (火) ～8 月 2 日 (金) 9:00～17:00
- ・受入人員 11 名
- ・実習内容

日 程	午 前	午 後
7 / 30 (火)	オリエンテーション・館内見学	考古資料、民俗資料取扱と整理
7 / 31 (水)	展示と展覧会の進め方	収蔵庫の環境と管理
8 / 1 (木)	博物館の体験学習	博物館と学校の関わり
8 / 2 (金)	学芸員と博物館の仕事・ 博物館資料の取り扱い	博物館資料の取り扱い・ ミーティング





## ◆調査研究・資料収集

### 1 調査研究

美濃加茂市民ミュージアムでは、自然・考古・歴史・民俗・美術・博物館学などの各分野に関する調査研究活動を行っています。主な活動としては、企画展の準備に伴う調査研究活動が挙げられます。また、それ以外にも、地域や博物館に関係するさまざまな事柄について、調査研究を行っています。平成14年度における調査研究活動の中で、先に紹介した企画展関連以外の主なものを紹介します。

自然の分野では、美濃加茂自然史研究会の指導・協力を得て、動植物の標本及び化石・鉱物の収集・整理を行いました。また、美濃加茂盆地の瑞浪層群の主要な層準において火山砕屑岩のフィッシュン・トラック年代の測定を行い、その成果は当館紀要に下記、鹿野勘次論文としてまとめられました。また、文化の森の春の植物を紹介した『文化の森植物ガイドブック春のI』が刊行されました。

歴史の分野では、カモ地域史研究会の指導・協力を得て、「加茂神社の総合研究」というテーマの下、坂祝神社の棟札調査を実施しました。また、平成13年度に行った蜂屋加茂神社の棟札調査をもとに、その後、得られた史料を加えて当館紀要に下記「加茂神社の総合的研究 二」及び鈴木重喜論文としてまとめられました。

民俗の分野では、「伝承料理の会」を中心に、この地域に伝わる郷土料理のレシピをまとめた『おばあちゃんちのおかって』が刊行され、好評を博しています。

また、調査研究の成果を発表するものとして、美濃加茂市民ミュージアム紀要を刊行しています。平成14年度は、13年度に引き続き第2集を編集・刊行しました。掲載内容は以下の通りです。

#### 『美濃加茂市市民ミュージアム紀要』第2集

鹿野勘次「岐阜県美濃加茂盆地の下部中新統・瑞浪層群のフィッシュン・トラック年代」

齊藤基生「加茂野地区における鈴木秀保氏採集資料の紹介」

新川登亀男 講演録「戸籍が語る702年の『ミノ』と『カモ』」

林英雄「美濃加茂市太田地区の支配の変遷と土地利用」

カモ地域史研究会「加茂神社の総合的研究 二」

鈴木重喜「蜂屋加茂明神社と社家栗山家」

〔資料編〕加茂神社棟札 旧社家栗山家文書

### 2 資料収集

美濃加茂市民ミュージアムでは、展示・教育普及・調査研究の各活動に資するため、日常的に資料の収集に取り組んでいます。資料の収集には、寄贈・寄託・購入の各方法があります。特に、寄贈に関しては、平成14年度には、下記の芳名一覧のように、多くの個人・機関・団体からご寄贈いただきました。また、上記の収集方法以外では、原資料から複製を作成して、所蔵することも行っています。複製は主に展示に利用する目的で作成されます。

このようにして収集した所蔵資料は、歴史・民俗・考古・美術・歴史写真・広報写真・植物・動物・図書の各資料に分類・整理して管理しています。各分野ごとの資料点数は、下記の通りです。

歴史 9,661/民俗 4,041/考古 27,991/美術 356/歴史写真 1,268/広報写真 512  
植物 3,712 / 動物 4,122 / 図書 10,840

処理の必要のある資料は、収蔵庫に入庫する前に燻蒸処理を行っています。

平成14年度は、2度燻蒸を行いました。また、燻蒸作業にあわせて、年2度、館内各所にトラップを設置し、害虫のモニタリング作業を行っています。

整理し登録された資料のデータは、データベースに入力され、館内での資料管理に利用されるほか、ホームページを通して広く一般の利用者も検索できるようになっています。

平成14年度に資料の寄贈・提供をいただいた方は、下記の通りです。(50音順・敬称略)(個人)

秋山節(市内下米田町)・飯田勝美(市内下米田町)・大矢正充(市内田島町)・加藤元夫(円空学会)・片桐郁子(市内森山町)・川合康司(市内蜂屋町)・川合伸一(市内下米田町)・川合信夫(市内下米田町)・河江環(市内加茂野町)・川崎春彦(東京都杉並区)・桑原庄助(市内本郷町)・小嶋トミ(岐阜市)・齊藤基生(多治見市)・酒向八千代(市内三和町)・佐合正義(市内牧野)・佐々木由美子(市内下米田町)・佐藤弘(市内太田町)・座馬井邨(岐阜市)・篠田康彦(岐阜市)・杉山嘉寿子(名古屋市)・鈴木修(小牧市)・千藤克彦(岐阜県文化財保護センター)・土屋耕美(市内下米田町)・中島勝国(可児市)・中山力(市内蜂屋町)・野中治(市内下米田町)・長谷川三佐男(名古屋市)・服部正(東京都文京区)・林復明(市内太田本町)・林由是(市内太田本町)・日比野正人(市内太田町)・平川南(国立歴史民俗博物館)・藤木智利(市内野笹町)・船坂芳助(東京都目黒区)・堀部一男(市内蜂屋町)・堀部曾石(市内太田町)・松岡敬二(豊橋市自然史博物館)・三宅祥彦(可児市)・武藤七郎(各務原市)・安田孝平(市内蜂屋町)・安江正明(加茂郡白川町)・山浦正男(市内清水町)・吉田昇(市内伊深町)・渡辺綾(名古屋市)・渡辺群一(名古屋市)・渡辺貞夫(市内太田町)・渡辺進(市内伊深町)・渡辺誠治(市内本郷町)・渡辺久信(市内本郷町)・渡辺富有子(市内古井町) など

(機関・団体)

愛知県教育委員会・愛知県史編さん委員会・愛知県陶磁資料館・愛知県埋蔵文化財センター・愛知県立大学文学部・愛美学園・あさご芸術の森美術館・渥美町郷土資料館・安城市歴史博物館・飯田市上郷考古博物館・飯田市美術博物館・池田町教育委員会・一宮市教育委員会・一宮市博物館・糸貫町教育委員会・稲沢市荻須記念美術館・稲沢市教育委員会・稲沢市内遺跡発掘調査委員会・衣の民俗館・伊吹山文化資料館・岩崎・宇都宮美術館・宇都宮美術館ワークショップ研究会・王滝村教育委員会・大垣市教育委員会・大垣市文化事業団・大口町歴史民俗資料館・大宮町教育委員会・岡崎市美術博物館・岡谷蚕糸博物館・岡山県立美術館・各務原市埋蔵文化財センター・各務原市歴史民俗資料館・香川県歴史博物館・加西市教育委員会・柏原市歴史資料館・春日井市教育委員会・神奈川大学日本常民文化研究所・可児郷土歴史館・可児市教育委員会・神岡町教育委員会・上高津貝塚ふる

さと歴史の広場・亀岡市教育委員会・川崎市民ミュージアム・川辺町教育委員会・環境省環境局生物多様性センター・関西城郭研究会・岐阜県教育委員会・岐阜県郷土資料研究協議会・岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課・岐阜県工業高等専門学校・岐阜県広報センター・岐阜県古地図文化研究会・岐阜県先端科学技術体験センター・岐阜県博物館・岐阜県美術館・岐阜県文化財保護協会・岐阜県文化財保護センター・岐阜県歴史資料館・岐阜市歴史博物館・岐阜大学教育学部・ギャラリーヒラワタ・京都国立博物館・京都府教育委員会・京都府埋蔵文化財調査研究センター・クイックス・桑名市博物館・下呂町教育委員会・皇學館大學神道博物館・高知県立博物館・国学院大学学術フロンティア事業実行委員会・国立科学博物館・駒ヶ根シルクミュージアム・埼玉県立自然史博物館・桜ヶ丘ミュージアム・滋賀県立琵琶湖博物館・静岡市教育委員会・静岡市登呂博物館・志村坂上遺跡N地点発掘調査団・下関市立考古博物館・釈迦堂遺跡博物館・杉並区立郷土博物館・鈴鹿市教育委員会・鈴鹿市考古博物館・関市・関市子ども文化事業実行委員会・瀬戸市埋蔵文化財センター・大東市教育委員会・高岡町教育委員会・高崎市美術館・多賀城市埋蔵文化財調査センター・タカダ印刷・高山市教育委員会・多治見市教育委員会・多治見市文化財保護センター・館山カルデラ砂防博物館・多度町教育委員会・多摩市文化振興財団・タルイピアセンター歴史民俗資料館・千葉県立安房博物館・知立市歴史民俗資料館・Children's Museum 研究会・鎮西町教育委員会・津市教育委員会・津市埋蔵文化財センター・土浦市立博物館・津山文化振興財団・十日町市教育委員会・東京芸術大学大学美術館・東京都立大学人類誌調査グループ・東京文化財研究所・土岐市美濃陶磁歴史館・徳川黎明会・常滑市民俗資料館・とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター・富加町教育委員会・豊田市郷土資料館・豊田市美術館・豊橋市美術博物館・豊橋市自然史博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・内藤記念くすり博物館・中山道広重美術館・中山道みたけ館・中津川市・中山道みたけ館・中津川市・中津川市鉱物博物館・長浜市教育委員会・南木曾町・名古屋市博物館・名古屋市蓬左文庫・名古屋市見晴台考古資料館・奈良大学文学部文化財学科・奈良文化財研究所・南山大学人類学博物館・西尾市教育委員会・西宮市大谷記念美術館・ネットワーク播隆・野田市郷土博物館・能登川町教育委員会・野々市町教育委員会・羽曳野市教育委員会・浜松市博物館・半田市立博物館・東日本鉄道文化財団・東山魁夷心の旅路館・尾西市歴史民俗資料館・飛騨世界生活文化センター・飛騨木工連合会・七宗町教育委員会・姫街道400年実行委員会事務局・日義村教育委員会・枚方市文化財研究調査会・袋井市教育委員会・古川美術館・文化財建造物保存技術協会・文化庁・文化フォーラム春日井・三重県埋蔵文化財センター・瑞浪陶磁資料館・御嵩町・御嵩町教育委員会・美濃加茂市立太田小学校・美濃加茂市立古井小学校・箕輪町郷土博物館・美浜町教育委員会・宮崎市教育委員会・妙見山麓遺跡調査会・三好町立歴史民俗資料館・明治大学・山武考古学研究所・四日市市遺跡調査会・四日市市教育委員会 など

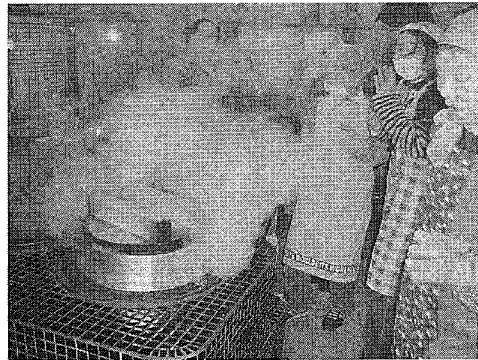
## ◆学校活用の理念と現状

### 1 学校教育とみのかも文化の森

#### (1) 小中学校が博物館を利用する意味

みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムは、設立準備段階から小中学校との連携を重点として進めています。その拠り所は平成10年度告示の学習指導要領です。すでに平成元年度告示の「小学校学習指導要領 社会」には、「博物館や郷土資料館等の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査を行い」とあり、同じく「中学校学習指導要領 社会」には、現行のと同文が記されています。そして現行の学習指導要領では、各学年の指導計画を作成するに当たって社会、理科、図画工作、美術、そして総合的な学習の時間等に、博物館や美術館、郷土資料館等の見学・調査・活用を図ることが示されています。多くの教科でまた生涯学習の面から、ますます博物館と学校教育の関係強化が求められています。

これは、「生涯にわたる学びの場」としてミュージアムをとらえ、それを自分の学びに取り込める人を育てることと重なります。みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムには人、自然、文化に関する「本物」が収集・展示されており、それらについて専門的に調査・研究する学芸員がいます。そして児童生徒にとっては、生涯にわたって学んでいる先輩と言えるボランティアがいます。さらに、その要素を学校と結ぶ学習係がいます。児童生徒がここで具体的に学習したり、人との関わりから学んだりする体験ができるように、組織的に仕組むことによって、学校が意図する学習のねらいを、より効果的に実現させることが可能です。



#### (2) みのかも文化の森の学習支援体制と設備の特色

みのかも文化の森にある様々な資料や専門の学芸員を活かすことによって、幅広い体験学習と深まりのある学習が可能になります。このような学習は、小中学校がみのかも文化の森を計画的・継続的に利用することが前提となります。ここでの学習は、教科学習や総合的な学習の時間のように、学校の年間指導計画（カリキュラム）に位置付いた学習であり、単元の目標を達成するための学習であることが必要です。学校で授業を受けるように、また森の学校でしかできない授業ができるようにと、学校と文化の森とをつなぐ様々な支援体制をつくってきました。

##### ①学校教育活動を具体的に結ぶ文化の森学習係

学校とみのかも文化の森との連携を密にし、各教科・領域の年間計画に基づいた単元目標を達成するための継続的・計画的な授業とするために、みのかも文化の森には学習係が位置づけられています。学習係長は教育委員会学校教育課との兼務であり、教諭がその職に充てられています。学習係は現在4名で構成され、学校との連絡調整や学習内容の検討、来館した児童生徒の指導等を行っています。その中で最も大切にしているのは、事前の打ち

合わせです。学習のねらいを共通理解し、学習内容や時間、担任や学習係、学芸員、学習支援ボランティアの役割分担を具体的かつ明確にするために、これは欠かせない営みです。

#### ②教員で構成された文化の森活用委員会

文化の森活用委員会は、併設する教育センターに事務局を置いています。代表学校長を委員長に、市内の小中学校の教諭で構成され、活動プラン作りや自校への活動紹介、活動の評価などを行っています。

#### ③T<sub>1</sub>として児童生徒を支援する学習支援ボランティア

みのかも文化の森では展示ガイド、アート、生活体験、伝承料理、学習支援の各ボランティアがそれぞれの活動を支えています。学校活用においては学習支援ボランティアが児童生徒の引率や館内の案内、学習の補助などの支援を行っています。現在、主婦、教員退職者等、26名の登録があり、各自の都合に合わせて活動しています。ミュージアムと児童生徒を、地域で育む大きな原動力となっています。



#### ④学校と森・施設を結ぶ「ぶんぶんバス」

みのかも文化の森は市のほぼ中央に位置しますが、徒歩による来館が可能な学校は一校だけです。来館の便宜を図るために準備段階から要望し、導入したのがみのかも文化の森専用のバスです。「ぶんぶんバス」と命名されたこの40人乗りのバスは、市内小中学校とみのかも文化の森間の送迎だけでなく、必要に応じてみのかも文化の森と他の施設間の送迎も行っています。

#### ⑤一日ゆったり過ごせる給食配送設備

事前に予約をすることにより、終日の活動の際には、学校と同様みのかも文化の森でも給食をとることができるようにしました。保健所と市給食センターの指導を得て、専用の給食用ワゴン、冷蔵庫、配膳台等を用意しました。衛生面にも十分配慮をしています。

## 2 みのかも文化の森における学習の実際

### (1) 文化の森で授業を行うプロセス

#### ①学校活用の年間の割り振り

年度末に各学校がみのかも文化の森を利用できる優先日を割り振り、学習係が各学校へ連絡します。重ねて学習係はみのかも文化の森の各施設を学校が利用できるように確保しておきます。各学校では教務主任が学校の行事予定を考慮し、学習係との2回の調整を行います。新年度が始まるまでには各学校の利用日が決定されます。

#### ②学習活動のねらいと概要を報告

利用日が近づくと、みのかも文化の森でどの教科(領域)でどのような活動を行いたいのか、担任から学習係へ報告があります。美濃加茂市内の学校は、活動の概略が書き込める活動案テンプレートやバスの申請書など、記入して学習係に送れるようにネット(逍遙ネット)で結んであり、これを共に活用します。保育園や市外の学校とは、電話やFAX等で連絡を取り合います。

### ③担任と学習係との事前打ち合わせ

授業のおよそ2週間前に担任にみのかも文化の森に来てもらい、略案をもとに学習係と打ち合わせを行います。時には学芸員も参加し、学習を練りあいます。学習のねらいや内容について、双方で準備するもの、バスの送迎時刻、昼食の有無など、学校側とみのかも文化の森側とが共通理解を得られるように、じっくりと話し合うようにしています。

### ④学習活動案（細案）の作成

事前打ち合わせをもとに、学習係が学習活動の細案を作成します。担任の指導を中心としながらも、学芸員や学習係、学習支援ボランティアがどの段階でどのような支援を行うかを明確にし、関係者全員が学習のねらいを共通理解できるように配慮します。活動案は、学校にはE-mailで届けるとともに、学習支援ボランティアを含むスタッフにも配布します。

### ⑤みのかも文化の森での授業

学校と同様、授業を中心に進めるのは担任です（T<sub>1</sub>）。授業の中に学芸員が入る場合はT<sub>2</sub>となり、学習係がT<sub>3</sub>、学習支援ボランティアがT<sub>4</sub>となってチームティーチングを行い、より多くの子に目を届かせ丁寧な指導が行えるように心がけます。

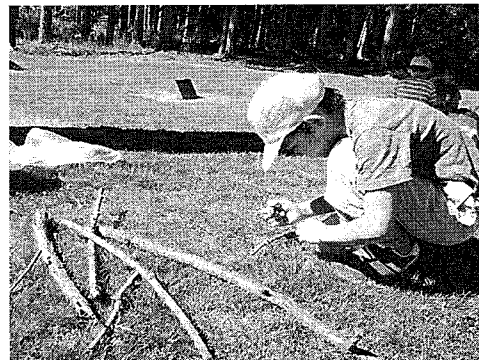
### ⑥1年間の活用実践集を作成

1年間に行った活動を学年毎にまとめ、さらに文化の森活用委員会や学芸員考案による新プラン、利用したワークシート類を編集して「活用の手引き・活用実践集」を作成します。これが次年度の教員の手引き書となります。文化の森HPでは学習活動の全紹介もしています。

## （2）平成14年度学校活用例

### ①はじめに

開館2年半目となり、学校もイベント的な活動から、自校の長期利用に合わせた活動へと、移行してきました。活用校のべ110校余り、様々な活動を仕組んできましたが、ここでそのいくつかを紹介いたします。



### ②あきはたのしいね（小学校2年生 生活）

敷地内の自然観察の森を使って、小学校低学年を対象に「あきのどうぐづくり」をしました。木の実や木の葉、枝など森の中にあるものをうまく利用し、おもちゃや飾るものを作りました。難しい接着を学習支援ボランティアと共にやってみるなど、人との関わりの良さも体感した活動でした。

### ③大地のつくり（小学校6年生 理科）

小学校6年生の理科の学習です。学芸員から美濃加茂の大地のつくりの解説を聞きながら、常設展示室を見たり岩石標本を観察したりしました。さらにバスで国定公園の化石林公園に行き、多くの珪化木や化石が発見された実際の地を見学しました。発見するという喜びが、どの児童にも湧いた体験活動でした。

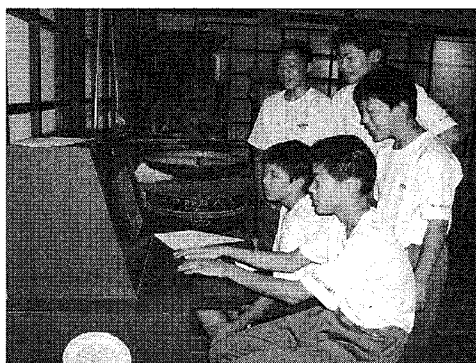


#### ④私たちの地域（中学校2年生 総合的な学習の時間）

平成14年度は「総合的な学習の時間」の全面実施の年度であり、中学校の活用プログラムはこの学習から生まれました。個人テーマによる追究活動では、いくつかのグループに分かれて学芸員からアドバイスを聞いたり、文化の森のボランティアから経験談を伺ったりするなど、自ら求め自ら学ぶ姿がありました。地域からまた歴史から、さらに福祉の視点から、自分の課題を追究していく道筋をつけた活動でした。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果



来館者数の全体を占める割合は小学校が大半ですが、中学校と保育園の来館者が昨年より増えました。中学校は「総合的な学習の時間」における人材と場の設定に、文化の森をうまく生かし、保育園は遊びや親子活動にと広がってきたからと考えます。また小学校は「使ってみる」から「見通して活用する」という方向へと、有効で着実な動きになってきました。

#### (2) 課題

活用が豊かになるにつれ、安全面や物理的な面での配慮がより重要であることがわかってきました。内容によってはクラス単位や時間差での来館など、児童生徒への十分な学習環境づくりをより心がけていきます。また、中学校の活用については、学校と模索をしています。市内の中学校は学校規模が大きく、学年全員にわたって同一のプログラムを学ぶことが難しいこと、またみのかも文化の森との往復に時間がかかることも原因と考えます。「総合的な学習の時間」における課題別グループでの学習や選択教科をもとにした学習、また学習内容によっては講師の派遣という形態の活動を、活用委員会や職員でプランしていこうと考えています。機会を設け、みのかも文化の森にある人・もの・こと・場を学校に伝え、共にアイデアや情報を生み出しつつ、博学融合の場、生涯学習の場としてみのかも文化の森のリピーターを増やしていけると考えています。

## ◆教育センター

平成4年度に、学校教育だけでなく、家庭・社会教育を含めた美濃加茂市の教育の拠点として教育センターが開設されて11年目を迎えました。文化の森に市民ミュージアムとの複合施設としてスタートして3年が経過しました。



### 1. 研修

#### (1) 研修講座



平成14年度の研修講座は、3コース（教科指導 心の教育 市民参加）27講座を実施しました。

教員の指導力向上を目指して、可茂教育振興事務所学校教育課の指導主事を講師として、国語、社会、算数数学、理科、英語の5教科の教科指導講座を実施しました。

夏期オープン講座として、可茂地区の教職員に呼びかけ、市外から87名の教職員の参加がありました。また邦楽講座として、琴、和太鼓の実技指導も実施し好評でした。今年から学校週5日制がスタートし、学力の低下が懸念され教員の資質が問われるようになり、教育センターが果たさなくてはならないこととして教科指導の講座は重視されてきました。

教育講演会は、岐阜大学教育学部教授 北俊夫先生を講師として迎えて「教科指導と評価」をテーマとして講演とパネルディスカッションを実施しました。市外からの教職員の参加があり約450名の参加でした。学校では、絶対評価が新しくスタートした年であり、パネラーに保護者代表も入り参加者には大変興味をもつことができ好評でした。

今年度は特に美濃加茂ライオンズクラブとタイアップして「美濃加茂教育21FROM0歳プラン」の具現を目指し4回の教育講演会を行いました。幼児を持つ親から高齢者までの参加となりました。

また、市民参加の「お月見コンサート」は、文化の森生活体験館で笛師 田中敏長先生の横笛演奏と親子横笛づくり教室の講座で学んだ親子が自作の笛で演奏会を開きました。

今年度の研修講座等参加者は、市民含めて約1,900名となりました。文化の森で実施した美濃加茂市教育研究会の科学作品展（全国優秀作品展）2,178名参加や子ども2,211名参加を含めると約6,300名の参加者となりました。

#### (2) 教育センター広報「ひびきあい」・「ひびきあい壁新聞」の発行

教育センターの活動をよく理解していただくために、広報紙や壁新聞を今年度も発行しました。広報紙は、センターの活動、学校教育の現状、教育の動向などを内容とし、市内保幼小中教職員、県内外の教育センター等教育機関、市民関係機関等に配布しました。

また、壁新聞は、中央公民館、中央図書館、福祉センターに掲示し、市内各学校の特色ある教育活動を市民に紹介しました。



### (3) 教材・教具・図書資料の貸し出し

図書資料をはじめ、教育センターの所有する教材・教具・資料を紹介し貸し出ししました。

## 2. 教育支援（教育相談・あじさい適応指導教室）

素晴らしい自然と施設そして人に恵まれた「文化の森」へ、あじさい教室や教育相談窓口が移転して3年目が終わりました。素晴らしい環境に置かれた教室に、相談に来られる市外の子どもや保護者が、ぜひこの教室でお世話になりたいと要望されることが多くあり、広域からの来室者が多かった年でした。

### (1) 教育相談

#### ①相談件数等

不登校児及び保護者等の教育相談活動やカウンセリングを行いました。電話や来所相談が休日・祭日にも受けられるよう今年度も体制をとってきました。次の表がその結果です。いずれも昨年度を上回っています。内容的には、不登校に関することが80%を超えています。

年度	来室相談		電話相談		家庭相談		学校訪問		合計	
	H13	H14	H13	H14	H13	H14	H13	H14	H13	H14
計	104	119	106	118	33	79	311	395	594	621

#### ②相談員研修会の実施



学校教育相談員等の資質向上の為に、次のように開催しました。研修の成果が、不登校児の減少に成果として表れてきています。

ア	大学教授による指導研修	2回
イ	心理治療士による指導研修	6回
ウ	精神科医による指導研修	1回
エ	実践交流	6回
オ	視察研修（高山市出合い塾）	1回

### (2) あじさい教室（適応指導教室）の経営

学校に登校できない児童・生徒をあじさい教室に受け入れて、学習、生活、体験活動を自主的に行えるように支援してきました。不登校児童生徒適応指導総合研究調査事業（SSP）の指定3年目を終えました。あじさい教室を主たる活動場所として、人やもの、自然との触れ合う体験をとおして心を開き自立して生活が出来ることを目指しました。文化の森の自然や施設、そこに集まって来る人々等人的・物的環境を生かしたプログラムを用意しました。

（主な体験活動）

- ア、     デイキャンプ                     1回
- イ、     野外学習（りんご狩り等） 29回
- ウ、     調理実習                         10回
- その他、 野外散策、軽スポーツ、餅つき等

この1年間に来所した児童生徒は、小学生8人、中学生17人、計25人で市内不登校児童生徒数（年間最多数）32人中25人になり、来室割合は非常に高い。また、年間開室日数は161日で1日の最多来室人数は11人でした。今年度学校に復帰できた児童生徒は、卒業後の復帰を含めて、小学生5人、中学生9人でした。多くの児童生徒が、学校に復帰でき教室経営の成果として喜ぶたい。



## ◆施設の利用状況

### 1. 月別来館者数

月	常設・企画展	学校活用	教育相談等	貸館・講座等	その他	合計
4月	3,080	226	296	2,350	603	6,555
5月	5,669	651	273	7,745	3,868	18,206
6月	3,979	1,063	360	2,815	952	9,169
7月	3,421	474	821	3,048	798	8,562
8月	4,007	219	558	2,220	741	7,745
9月	4,728	501	3,009	3,958	1,237	13,433
10月	4,578	1,209	406	2,587	964	9,744
11月	5,392	1,947	2,577	8,298	1,958	20,172
12月	2,240	325	277	2,653	625	6,120
1月	3,874	876	459	2,726	847	8,782
2月	2,600	885	430	2,291	669	6,875
3月	2,725	66	303	2,261	536	5,891
合計	46,293	8,442	9,769	42,952	13,798	121,254

※「その他」には視察者等含まれます。

## 2. 視察状況

(上段:回数、下段:人数)

月	行政関係		教育・学校関係		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	1	回	0	回	0	回	1	回
	7	人	0	人	0	人	7	人
5月	3	回	0	回	0	回	3	回
	31	人	0	人	0	人	31	人
6月	1	回	0	回	5	回	6	回
	6	人	0	人	112	人	118	人
7月	0	回	2	回	1	回	1	回
	0	人	16	人	20	人	20	人
8月	2	回	0	回	0	回	2	回
	37	人	0	人	0	人	37	人
9月	2	回	0	回	0	回	2	回
	16	人	0	人	0	人	16	人
10月	2	回	1	回	1	回	4	回
	40	人	33	人	5	人	78	人
11月	4	回	1	回	4	回	8	回
	50	人	29	人	74	人	124	人
12月	1	回	0	回	2	回	3	回
	10	人	0	人	59	人	69	人
1月	2	回	1	回	1	回	3	回
	26	人	6	人	23	人	49	人
2月	0	回	1	回	4	回	4	回
	0	人	1	人	44	人	44	人
3月	0	回	0	回	0	回	0	回
	0	人	0	人	0	人	0	人
合計	18	回	6	回	18	回	42	回
	223	人	85	人	337	人	645	人

※ 行政関係には、官公庁職員、県市町村議会など。

教育・学校関係には、教職員（小中学校、保育園）の研修、家庭教育学級など。

その他には、自治会関係者、民生児童委員、マスコミ関係、サークルなど上記の3区分に含まれない団体等をさします。

### 3. 貸館状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
研修室	4	375	13	1,005	11	616	7	470	9	423	13	334	9	264	13	598	6	90	9	235	13	341	11	235	
会議室	13	540	15	685	19	694	21	616	13	483	14	296	19	374	13	480	12	239	14	279	18	251	24	469	
工芸室	7	389	9	2,384	7	170	12	347	8	265	8	131	7	179	11	915	4	90	3	61	11	173	11	213	
陶芸室	14	454	12	168	14	195	16	264	13	190	14	263	16	308	18	313	10	120	10	126	12	149	13	164	
緑のホール	8	729	14	1,697	14	826	17	1,094	11	745	10	720	9	670	13	950	17	1,413	12	640	12	748	10	843	
アトリエ	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	1	25	1	17	0	0	0	0	0	1	4	4	30	1	10
調理室	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	1	25	2	45	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0
生活体験館	1	300	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	3	65	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0
市民ギャラリー	2	430	5	2,864	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	500	1	1,150	0	0	0	0	0
エントランスホール	1	200	0	0	1	250	1	30	0	0	0	0	3	550	0	0	0	0	1	250	0	0	1	6	
展示ホール	1	100	2	300	0	0	0	0	0	0	1	2,015	1	110	1	5	1	102	0	0	0	0	0	1	30
計	51	3,517	70	9,103	70	2,800	74	2,821	54	2,106	62	3,809	70	2,582	69	3,261	51	2,554	51	2,745	72	1,722	72	1,970	

施設の利用回数・人数には文化の森の主催行事は含みません。

1つの団体が同じ日に2つ以上の施設を利用している場合は、両方の施設で人数をカウントしてあります。

また、同じ団体が同じ日に午前・午後・夜間の区別のうち、2つ以上の区分を利用している場合は、当該団体としての利用回数は1回としてカウントしてあります。

#### 4. 来館者アンケートの結果

みのかも文化の森では、企画展開催時に来館者アンケートを実施しました。本結果は下記の日程でおこなった来館者アンケートの5回分をまとめたものです。

##### ・実施日と開催中の企画展名

平成 14 年 4 月 13 日～5 月 6 日	スマレはスマレーみのかものスマレ展
平成 14 年 6 月 8 日～7 月 14 日	「気持ちの宝物」椎名誠写真展
平成 14 年 7 月 24 日～9 月 1 日	発掘された尾崎遺跡展
平成 14 年 9 月 14 日～10 月 14 日	「ミノ」「カモ」の古代－御濃国戸籍から 1300 年－展
平成 15 年 2 月 8 日～3 月 23 日	坂井範一とゆかりの作家展

##### ・アンケート結果

総配布数 124 枚                      総回収数 85 枚                      総回収率 68.5%

- |   |  |
|---|--|
| 1. どちらからお越しですか？   | 5. どなたと来館されましたか？   |
| <input type="checkbox"/> 美濃加茂市内                      35名                      | <input type="checkbox"/> 一人で                                      36名          |
| <input type="checkbox"/> 市外（県内）                              34名              | <input type="checkbox"/> 家族と                                      30名          |
| <input type="checkbox"/> 岐阜県外                                      15名        | <input type="checkbox"/> 友人と                                      13名          |
| <input type="checkbox"/> 不明    1名   | <input type="checkbox"/> その他                                      2名           |
| 2. あなたの年齢は？   | <input type="checkbox"/> 不明    0名    |
| <input type="checkbox"/> ～20 歳                                      3名        | 6. みのかも文化の森を何でお知りになりましたか？（複数回答可）   |
| <input type="checkbox"/> ～30 歳                                      8名        | <input type="checkbox"/> 友人などから                              25名               |
| <input type="checkbox"/> ～40 歳                                      12名       | <input type="checkbox"/> 文化の森の刊行物から                      34名                   |
| <input type="checkbox"/> ～50 歳                                      21名       | <input type="checkbox"/> 新聞や雑誌などから                      9名                     |
| <input type="checkbox"/> ～60 歳                                      26名       | <input type="checkbox"/> インターネットから                      4名                     |
| <input type="checkbox"/> 60 歳以上                                      13名      | <input type="checkbox"/> 他の博物館で                              5名                |
| 3. あなたの性別は？   | <input type="checkbox"/> その他                                      15名          |
| <input type="checkbox"/> 女性    48名  | <input type="checkbox"/> 不明    1名    |
| <input type="checkbox"/> 男性    34名  | 7. 何回目のご来館になりますか？  |
| 4. 文化の森までどのようにして来られましたか？（交通手段ついて、複数回答可）                                       | <input type="checkbox"/> 初めて    24名  |
| <input type="checkbox"/> 自動車で                                      75名        | <input type="checkbox"/> 2 回目    14名 |
| <input type="checkbox"/> 鉄道で    7名  | <input type="checkbox"/> 3～5 回目                                      14名       |
| <input type="checkbox"/> コミュニティバスで                      1名                    | <input type="checkbox"/> 6 回目以上                                      27名       |
| <input type="checkbox"/> 駅から徒歩で                              1名               | <input type="checkbox"/> 不明    0名    |
| <input type="checkbox"/> 自転車で    0名 |  |
| <input type="checkbox"/> その他    3名  |  |

8. 今日はどのような目的でお越しになりましたか？（複数回答可）

- |  |     |
|--|-----|
| <input type="checkbox"/> 展示(常設・美術工芸・民俗)を見るため | 31名 |
| <input type="checkbox"/> 企画展を見るため            | 37名 |
| <input type="checkbox"/> 催事や講座に参加するため        | 28名 |
| <input type="checkbox"/> 情報コーナーの利用           | 2名  |
| <input type="checkbox"/> 研修や旅行のコース           | 1名  |
| <input type="checkbox"/> 森で遊ぶため              | 5名  |
| <input type="checkbox"/> 喫茶店を利用するため          | 1名  |
| <input type="checkbox"/> 教育センターへ             | 1名  |
| <input type="checkbox"/> 館内施設の利用             | 1名  |
| <input type="checkbox"/> 新しい施設を一度見学するため      | 4名  |
| <input type="checkbox"/> その他                 | 5名  |

9. 受付スタッフの対応について

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 良い  | 56名 |
| <input type="checkbox"/> ふつう | 27名 |
| <input type="checkbox"/> 悪い  | 0名  |
| <input type="checkbox"/> 不明  | 1名  |

10. 職員やボランティアの対応など

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 良い  | 48名 |
| <input type="checkbox"/> ふつう | 25名 |
| <input type="checkbox"/> 悪い  | 0名  |
| <input type="checkbox"/> 不明  | 2名  |

11. 展示品についてお聞かせください。

11-1. どの展示をご覧になりましたか？ご覧になられたすべての展示に印をお願いします。

- |  |     |
|--|-----|
| <input type="checkbox"/> 企画展                 | 61名 |
| <input type="checkbox"/> 常設展                 | 22名 |
| <input type="checkbox"/> 美術工芸                | 8名  |
| <input type="checkbox"/> 民具展示(生活体験館・まゆの家も含む) | 7名  |

11-2. その展示では、どのように感じられましたか？

- ・昔からスマレが好きでした。スマレ展でこんなにいろいろあることを知りもっと勉強したいと思った。
- ・椎名誠写真展がほのぼのとしてよかった。展示方法が新鮮で興味深く鑑賞できた。
- ・写真だけでなく模型がわかりやすかった。

(主な意見を抽出)

12. 今回の企画展を何でお知りになりましたか？

- |                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 以前文化の森で      | 1名  |
| <input type="checkbox"/> 友人などから       | 13名 |
| <input type="checkbox"/> 文化の森ニュースなどから | 27名 |
| <input type="checkbox"/> 新聞や雑誌などから    | 9名  |
| <input type="checkbox"/> インターネットから    | 2名  |
| <input type="checkbox"/> 他の博物館で       | 4名  |
| <input type="checkbox"/> 今日入館して       | 12名 |
| <input type="checkbox"/> その他          |     |

(NHKラジオ、家族、研究会などから)6名

- |                             |    |
|-----------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 不明 | 0名 |
|-----------------------------|----|

13. 今回の企画展についてのご意見をお願いします。

- ・実物が展示されているとずっとよかった。
- ・専門の先生の解説が聞いてよかった。
- ・スマレの観察会に参加できて良かった。
- ・順路が曖昧でわかりづらかった。
- ・説明の文字が小さくて読みづらいです。

(主な意見を抽出)

14. みのかも文化の森へのご意見、ご要望をお聞かせください。

- ・駅(美濃太田)からの道順がわかりにくい。
- ・初めて訪れましたが、すばらしい施設ですね。
- ・市民の個展やグループ展など、もっと気軽に出来るようなスペースにならないか？
- ・市民参加の企画を期待しています。
- ・展示会や教室など開催してください。
- ・1人でインターネットをする人がいるので、交代で誰でも使えるようにしてほしい。

(主な意見を抽出)

## ◆広報活動の記録

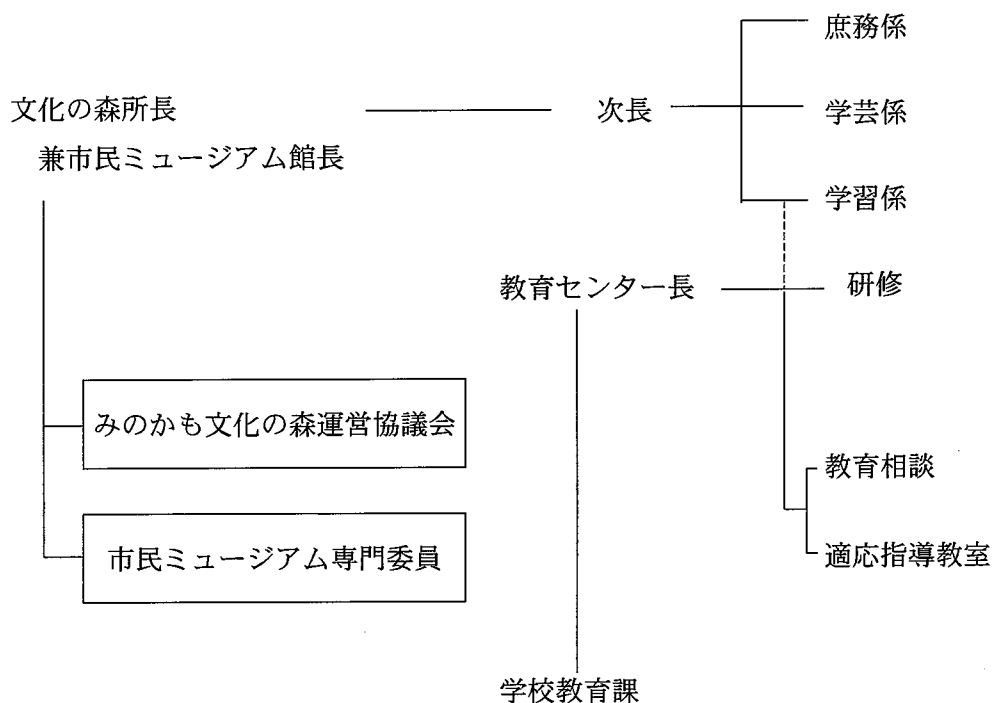
平成14年度中に掲載された主な新聞・雑誌等についてのまとめ

	掲載紙面	掲載号・日時	掲載内容
新聞関係	岐阜新聞	2002. 6. 21	学校活用 山手小学校「武士の世界」入門
		2002. 7. 5	絵画の寄贈（渡辺綾さんの作品）
		2002. 7. 6	坪内逍遙大賞（水谷八重子さん）
		2002. 8. 29	アートな1日講座「縄文土器づくり」
		2002. 9. 8	美濃加茂市児童生徒科学・社会、発明作品展
		2002. 9. 11	虫の音を聞く会
		2002. 10. 11	森のコンサート「ハーブ演奏会」
		2002. 10. 23	太田三郎ワークショップ
		2002. 11. 15	絵画の寄贈（小木曾和男さんの作品）
		2002. 11. 21	美濃加茂市美術展
		2002. 12. 26	アートな1日講座「クリスマスカードをつくる」
		2002. 12. 30	伝承料理の冊子 『おばあちゃんちのおかって』
		2003. 1. 10	小川博史展
		2003. 2. 13	まゆびなづくり
		2003. 2. 13	坂井範一とゆかりの作家展
		2003. 3. 5	シイタケの菌打ち講座
		2003. 3. 21	アートな1日講座
	中日新聞	2002. 4. 4, 11	スマレはスマレ展
		2002. 6. 6, 9	気持ちの宝物 椎名誠写真展
		2002. 6. 18	椎名誠さん講演会
		2002. 6. 20	蚕とまゆ展
		2002. 7. 3	科学作品展
		2002. 7. 4	美濃加茂市の紹介「川合市長に聞く」
		2002. 7. 5	絵画の寄贈（渡辺綾さんの作品）
		2002. 8. 7	親子横笛教室
		2002. 8. 7	夏休み子ども講座「尾崎遺跡を掘る」
		2002. 8. 8	夏休み子ども講座「森でうたた寝と蓄音機を聴く」
		2002. 8. 8	森のコンサート
		2002. 8. 15	森の朗読会
		2002. 8. 15	須恵器からみた古代の尾崎遺跡展
		2002. 8. 22	季節を染める
		2002. 8. 22	縄文の土器づくり
		2002. 8. 29	四季を食べる講座
		2002. 8. 29, 9. 8	美濃加茂市科学作品展・発明くふう展
		2002. 8. 29, 9. 12	森の自然観察会「虫の音を聞く会」
2002. 9. 12, 21		お月見コンサート	
2002. 9. 27		太田三郎展	
2002. 10. 5		野外劇「マクベス」	
2002. 10. 9		森のコンサート「ハーブ演奏会」	
2002. 11. 3		美濃加茂市子ども展	
2002. 11. 22		美濃加茂市美術展	
2002. 12. 10		津田左右吉賞受賞	
2002. 12. 19		伝承料理の冊子 『おばあちゃんちのおかって』	
2002. 12. 25		アートな1日講座「クリスマスカードをつくる」	
2003. 1. 9		暮ラシカル道具展03	
2003. 1. 9		森の体験講座「野鳥観察会」	
2003. 1. 9		森の朗読会	
2003. 1. 9		四季を食べる講座「粕汁」	
2003. 1. 10		小川博史展	
2003. 1. 24		暮ラシカル道具展03	
2003. 1. 30		坂井範一とゆかりの作家展	
2003. 2. 9		坂井範一とゆかりの作家展	
2003. 2. 12		ふるさとづくり芸術賞「優秀賞」受賞	
2003. 2. 12		色と形と冒険「坂井範一とゆかりの作家」展	
2003. 2. 13		坂井範一とゆかりの作家展 御宿正司さん講演会	
2003. 2. 14	まゆびなづくり		
2003. 2. 20	色と形と冒険「坂井範一とゆかりの作家」展		
2003. 2. 26	シイタケの菌打ち講座		



		2003. 2. 26	くらし体験講座「季節を染める」
		2003. 2. 26	アートな1日講座「ミニチュア火鉢でアート」
		2003. 2. 26	森のコンサート
		2003. 2. 26	四季を食べる講座「手づくり豆腐」
		2003. 3. 1	山手小学校卒業コンサート
		2003. 3. 1	朗読会・坂井範一の「随想」より
		2003. 3. 6	第2回 アートボランティア企画・ビデオ上映会
		2003. 3. 6	森の朗読会
		2003. 3. 6	色と形と冒険「坂井範一とゆかりの作家」展
		2003. 3. 20	みのかも文化の森紹介
		2003. 3. 20	アートな1日講座「陶芸（手びねり+ろくろ）」
	読賣新聞	2003. 3. 28	みのかも文化の森紹介
	スポーツ報知	2002. 4. 8	みのかも文化の森紹介
	東海ニュース	2002. 6. 28	気持ちの宝物 椎名誠写真展
		2002. 6. 28	坪内逍遙大賞（水谷八重子さん）
雑誌関係	ぴあ	2002. 7. 1	催し案内
		2002. 9. 24	催し案内
	ケイコとマナブ	2002. 9	催し案内
		2002. 11	催し案内
		2003. 1	催し案内
		2003. 2	催し案内
		2003. 3	催し案内
mama	2002. 6	催し案内	
その他	可茂ホームニュース	2002. 4. 20	催し案内
		2002. 5. 4	催し案内
		2002. 5. 18	催し案内
		2002. 6. 1	催し案内
		2002. 7. 6	陶芸サークル「尾崎窯」紹介
		2002. 8. 3	催し案内
		2002. 10. 19	催し案内
		2003. 1	生活体験ボランティアの紹介
		2003. 2. 1	催し案内
		2003. 3. 1	催し案内
	Allen	2002. 9. 13	みのかも文化の森紹介
	中日新聞「ぎふサーチ」	2002. 11. 1	みのかも文化の森（民具展示館）紹介
	くらしの友	2002. 11. 1	催し案内
	シティリビング	2002. 6. 21	催し案内
	Chat	2003. 3	催し案内
	どーなっつ	2002. 7 9号	催し案内
		2002. 10. 10号	催し案内
		2003. 1 11号	催し案内
	かにさんくらぶ	2002. 7	催し案内
		2002. 8	催し案内
		2003. 2	催し案内
	暮らしの風	2002. 9	催し案内
	ぴーかん	2002. 5	催し案内
		2002. 6	催し案内
		2002. 7	催し案内
		2002. 8	催し案内
	ラ・ン・タ・ン	2002. 10~12	催し案内
		2002. 12~2003. 2	催し案内
	あそびまなびネット	2003. 3	催し案内
	はじめのいっぽ	2002. 10.	催し案内
		2003. 1	催し案内
	ぼけっと	2002. 5	催し案内
		2002. 7	催し案内
		2002. 10.	催し案内
		2003. 1	催し案内

## ◆みのかも文化の森の組織図



## ◆利用案内

開館時間 9:00～17:00(ただし、催事等があるときにはその部分のみ 22:00 まで開館)

休館日 市民ミュージアム 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、翌日休館)  
第4火曜日、年末年始

教育センター 土・日曜日、祝日、年末年始  
(ただし、教育相談は土・日曜日、祝日も実施)

駐車場 北駐車場 10 台、東駐車場 54 台、南駐車場 110 台

交通 鉄道/J R 名古屋駅から美濃太田駅まで特急で 40 分  
美濃太田駅北口から徒歩約 17 分  
自動車/名古屋高速小牧 I C から約 35 分  
中央自動車道多治見 I C から約 35 分

みのかも文化の森 年報  
(平成 14 年度)

編集・発行 みのかも文化の森

2003 年 9 月 30 日

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1

電 話 0574-28-1110

F A X 0574-28-1104

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

印刷 サンメッセ 株式会社

